

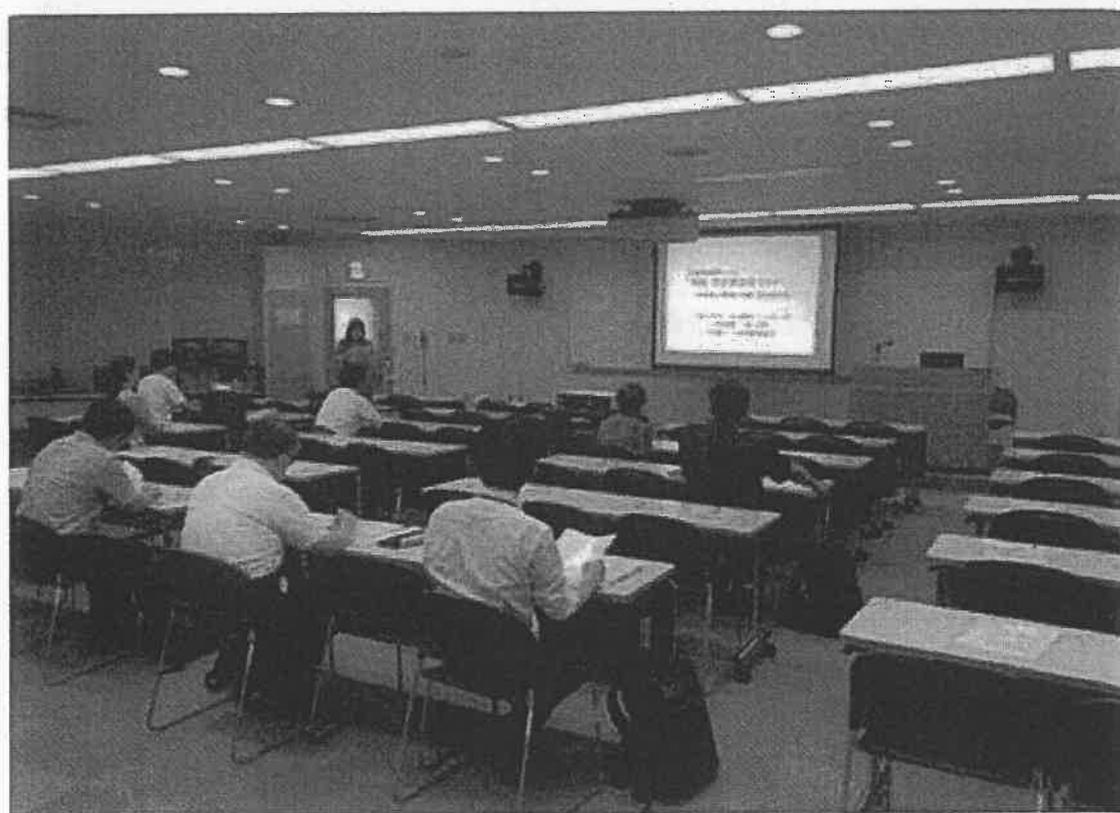
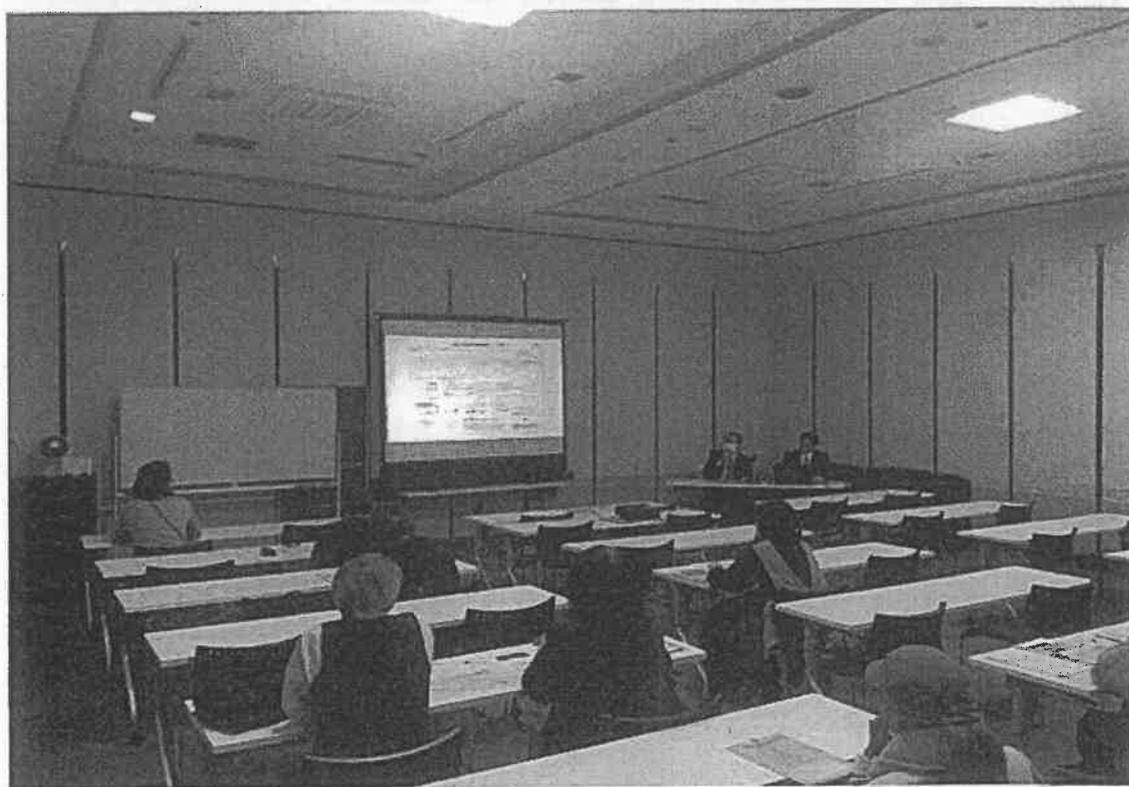
B-15 空き家・空き地の未然対策による持続可能なまちづくり事業

／一般社団法人地方創生パートナーズ

活動地域	西宮市、尼崎市
協働団体	(後援)法務省、神戸地方法務局、西宮市、尼崎市
事業の目的・趣旨	<p>少子高齢化に伴う人口の減少が進む中で、空き家・空き地等の管理や処分を検討する人が増加することが見込まれる。こうした空き家・空き地に関わる様々な課題をその所有者だけの問題としてではなく地域全体の問題として捉え、空き家・空き地等の適切な管理の普及活動を行うことで持続可能なまちづくりへと繋がる活動をするを目的とする。</p>
事業内容	<p>空き家、空き地等の管理や処分に関心のある自治会や市民等に対し、法務局職員や司法書士、行政書士、土地家屋調査士等の法律の専門家や不動産の実務に携わるメンバーがセミナーを開催した。</p> <p>法務局講師による「相続・空き家対策セミナー」～新制度の概要と相続・空き家対策セミナー</p> <p>①法務局の新しい制度(講師:法務局担当者)</p> <p>・国に土地を寄付できるの?(相続土地国庫帰属法)</p> <p>・相続登記をしないとどうなるの?(相続登記義務化)</p> <p>②自筆証書遺言書保管制度(講師:法務局担当者)</p> <p>=その遺言書、法務局が預かります</p> <p>③空き家未然対策のポイントは?</p> <p>(講師:一般社団法人地方創生パートナーズ所属法律専門家、不動産業者)</p> <p>・法律専門家、不動産業者からみた空き家対策)</p> <p>個別相談会</p> <p>個々が抱える空き家、空き地、相続に関する悩みを司法書士、行政書士、土地家屋調査士等の法律の専門家や不動産の実務に携わるメンバーが相談に応じていった。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R5	8	10	尼崎市女性センター・トレビ	セミナー、個別相談会	8	5
	5	8	26	西宮市・塩瀬公民館	セミナー、個別相談会	8	5
	5	11	17	西宮市民会館	セミナー、個別相談会	8	15
目標の達成状況	<p>8月10日、8月26日に開催したセミナーは、高温のため、外出を控える注意報が出ていたため、参加者は見込めないと考えていたが、そうした状況下にあっても各5名の参加者があったことは、空き家、空き地、相続に深刻に悩んでいる方が多いことがわかった。</p> <p>11月17日のセミナーにおいては、民法、不動産登記法の改正があまり世間に周知されていないことがわかり、セミナー後のアンケートでは、民法、不動産登記法改正による一定の条件はあるが国に相続土地を帰属できる制度、相続登記の義務化、既存の制度ではあるが自筆証書遺言書保管制度を利用したいというアンケート回答が多かった。</p> <p>参加者は延べ25名であるが、セミナーを開催にあたっての周知活動その他で数字には表れない結果がでた。</p> <p>兵庫県は、相続土地国庫帰属制度の相談件数、全国でトップ3に入っている。</p>						
事業効果	<p>空き家、空き地問題は、空き家、空き地が阪神南地区にあっても居住者が阪神南地区以外に、また、居住者が阪神南地区にいても、空き家、空き地が阪神南地区以外にあることが少なくなく、広範囲にわたる周知活動が必要である。</p> <p>今回のセミナー効果は、阪神南地区だけでなく、阪神北地区、大阪府にも広がりつつある。</p> <p>法務省、阪神北県民局、神戸地方法務局、NHK、大阪府、大阪法務局、(宝塚市の)まちづくり協議会に関係者が広がる等予想以上の事業効果がでてきた。</p> <p>阪神北地区では、伊丹市と協働事業提案制度に採択、猪名川町とは連携協定、西宮市では、令和7年度に向けて協定を検討していく流れになってきた。</p> <p>住民だけでなく、法律専門家、不動産業者等にも関心を持つ人が増えてきた。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>地道な活動ではあるが、本年度同様、セミナーや個別相談会を開催することで、住民の悩みを解決していく。</p> <p>また、セミナー参加者へのアンケート調査や個別相談会等現場の生の声を聴くことにより、課題を見つけ出し、解決策を模索していく。</p> <p>複雑多岐にわたる専門知識、経験が必要になってくるため、人材の発掘、育成にも力を入れていく。</p> <p>また、国や行政との関係強化に努める。</p>						

事業実施状況を示す写真



B-16 「防災力×美しいまちなみ」啓発・提案事業／西宮まちなみ発見倶楽部

活動地域	西宮市を中心とした阪神南地域、兵庫県内、高知県
協働団体	西宮市
事業の目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神南地域では南海トラフ地震に端を発し洪水・土砂災害、高潮、津波対策として土木構造物の構築が始まっている。一方、この地域は阪神間モダニズムを象徴する建築物等が数多く遺されているエリアでもある。いかにしてこれらが両立し「美しいまちなみ景観」を維持、発展できるか？重要課題だと考えている。 ・そこで、防災施設の視察により知識を深めるとともに、市民と課題を共有するためのパネル展、及び、行政、学識経験者によるセミナーを開催し、防災とまちなみの共存を検討し、提言・提案につなげることを目的とした。
事業内容	<p><パネル展></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和6年2月23日(金)～25日(日) 10:00～20:00(25日17:00まで) ・来場者数：のべ1,200人、スタッフのべ80人(2時間ごとに交代) ・参加費：無料 ●展示：A0サイズ27枚A1サイズ2枚の印刷物とポスター1枚、計30枚を展示 ・今年度の活動で得た「まちなみ×防災」に関連する情報、景観行政、まちあるきを行ったエリアのまちなみに関する展示を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ◇まちなみ×防災 <ul style="list-style-type: none"> ・視察報告・提言 4枚 ・臨海部・西宮浜 4枚 ・西宮みなと今昔 1枚 ・まちなみさんぽ(甲子園、山口町、段上、上ヶ原) 4枚 <li style="padding-left: 40px;">*まちあるきの中で「まちなみ×防災」の視点でも説明を行った。 ・まちなみ発見MAP4改訂版「甲子園」 2枚(A1) ◇景観行政 ・景観ガイドライン 4枚 ・都市景観賞 2枚 ◇まちなみ今昔 ・西宮北口南側のむかしと今 6枚 ●ガイドツアー：展示内容について担当者より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和6年2月23日(金)、24日(土) <li style="padding-left: 40px;">11:30～、13:30～、15:30～ 各回30分程度 ・参加者数：のべ80人、説明スタッフ7人 ・参加費：無料 ●ミニさんぽ：「西宮北口南側のむかしと今」で紹介したエリアのまちあるき <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和6年2月23日(金)、24日(土) 14:00～15:00 ・参加者数：31人、ガイド&同行スタッフ5人 ・参加費：200円 ●動画上映：西宮まちなみ発見倶楽部紹介、今津灯台移設、西宮みなと今昔リハーサル風景、令和5年度西宮市3都市宣言周年記念「西宮の軌跡・未来へ向けて」 ●MAPおよびクリアファイル販売 ●会員募集

<景観セミナー>

- ・開催日時：2月25日（日）14:00～16:30
- ・開催場所：西宮市大学交流センター 大講義室
- ・参加者数：40名（一般・サポート会員の参加25名、スタッフ13名、ゲスト2名）
- ・参加費：1,000円

●内容

- ・話題提供①「西宮市の景観と行政の取組～景観ガイドラインから～」
竹嶋直樹さん/西宮市政策局都市計画部都市デザイン課課長
- ・話題提供②「洲本市福良港。高知県の防災施設～視察の報告～」
宇野宏司さん/西宮まちなみ発見倶楽部・神戸市立工業高等専門学校 都市工学科 教授
- ・トークセッション「まちなみと防災・共存を探る」
コーディネーター：角野幸博さん/関西学院大学 建築学部 教授
登壇者：角野幸博さん、竹嶋直樹さん、宇野宏司さん
- ・まとめの講話「多様な顔を持つ西宮のまちなみづくり」 角野幸博さん

<まちなみ×防災 視察>

●東川水系津門川地下貯留管整備事業の視察

- ・日時：7月20日（木）10:00～12:00
- ・場所：現場事務所（西宮市神祇官町4-10）
- ・参加者数：9名（倶楽部メンバー）
- ・案内：兵庫県阪神南県民センター 西宮土木事務所 河川砂防課

●他都市防災施設の視察

- ・日時：9月25日（月）～26日（火）
- ・参加者数：6名（倶楽部メンバー）

◇訪問先①福良港津波防災ステーション、浮上式水門、第2排水機場（兵庫県南あわじ市）

- ・案内：兵庫県淡路県民局 洲本土木事務所 港湾第2課

◇訪問先②仁淀川の名護屋沈下橋（高知県吾川郡いの町勝賀瀬）

◇訪問先③中土佐町津波避難タワー（純平タワー）、中土佐町の臨海部

- ・案内：中土佐町 危機管理室

◇訪問先④株式会社高知丸高・防災資材センター、防災展示場（高知県南国市）

- ・見学：つなみ避難シェルター「まんぼう」、防災施設模型、高知県産材使用仮設住宅など
- ・案内：株式会社高知丸高 営業管理部 防災・技術・広報課

◇訪問先⑤高知県立公文書館

- ・見学：企画展「備える・学ぶ・南海トラフ地震対策」

<まちあるき・西宮みなと今昔～あらヨット跳ね橋を越えて～>

- ・現在と昔の港を巡るまちあるきを実施。昔の防潮堤とその名残、津門の入り海の高差などを説明。西宮市3都市宣言周年記念事業として実施。
- ・開催日時：11月4日（土）8:45～12:30
- ・参加者数：30名（一般18名、スタッフ12名）
- ・参加費：1,000円（お土産付：倶楽部オリジナルクリアファイル）

・コース：新西宮ヨットハーバー～西宮浜総合運動公園～跳ね橋～西宮マリーナ～住吉神社～新水門・洗戎川ポンプ場～白鹿記念館～交通公園～宮水発祥の地～酒蔵通り～茂松禅寺

・ガイド：西宮まちなみ発見倶楽部のメンバー

*この事業に阪神南ふるさとづくり応援事業の補助金は充てていないが、コースの一部である臨海部のまちなみについてパネル展で提案を行ったので、記載した。

事業経過

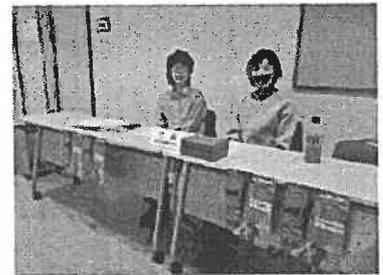
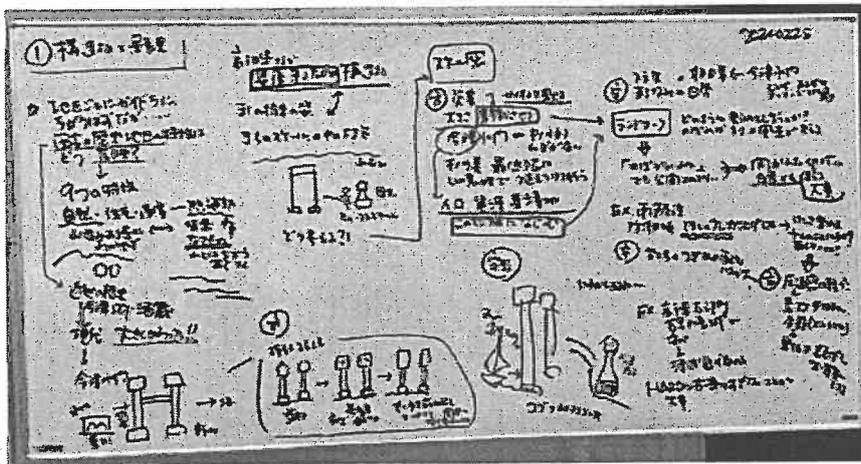
年 月 日	活動場所	実施内容	参加人数		
			スタッフ	参加者	
令和5	6 5	阪神香櫛園駅～西宮浜	臨海部視察	4	
	17	夙川公民館 第3集会室	今昔班打合せ(パネル展内容)	5	
	18	中央公民館 402集会室	2022年度第3回定例会 臨海部打合せ	13 4	
7	2	新西宮ヨットハーバー～六湛寺公園	まちあるき「西宮みなと今昔」下見	11	
	16	今津公民館 第2集会室	2023年度第4回定例会 臨海部打合せ(MAP&パネル展内容)	11 4	
	20	津門川地下貯留管整備事業 現場事務所	左記整備事業見学	9	
	23	夙川公民館 第3集会室	今昔班打合せ(パネル展内容)	5	
9	10	新西宮ヨットハーバー～六湛寺公園	まちあるき「西宮みなと今昔」リハール	10	
	16	夙川公民館 第3集会室	今昔班打合せ(パネル展内容)	5	
	17	若竹公民館 第1集会室	2023年度第5回定例会 臨海部打合せ(MAP&パネル展内容)	12 4	
25-26	南淡路市・高知県	まちなみ×防災 視察	6		
10	15	今津公民館 第4集会室	2023年度第6回定例会 臨海部打合せ(MAP&パネル展内容)	14 4	
	21	新西宮ヨットハーバー～六湛寺公園	まちあるき「西宮みなと今昔」リハール	4	
	28	新西宮ヨットハーバー～六湛寺公園	まちあるき「西宮みなと今昔」リハール	8	
11	4	新西宮ヨットハーバー～六湛寺公園	まちあるき「西宮みなと今昔」本番	12	18
	12	中央公民館 402集会室	2023年度第7回定例会 臨海部打合せ(MAP&パネル展内容)	11	
12	10	中央公民館 603集会室	2023年度第8回定例会		
	17	甲東園個人邸	まちなみさんぽVol8 段上(パネル 展打合せ)	3	
令和6	1 14	中央公民館 402集会室	2023年度第9回定例会	16	
	2 4	若竹公民館 第一集会室	2023年度第10回定例会	14	
	23-25	アクト西宮 東館2階 中央ひろば	パネル展2024	のべ50	1,000
	23-24	同上 同上	ガイドツアー ミニさんぽ	13 5	80 31
	25	大学交流センター大講義室	景観セミナー	13	25 ゲスト2

<p>目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●提案・提言 <ul style="list-style-type: none"> ・「まちなみ×防災」をテーマとした活動成果として、パネル展で提案・提言パネルを作成・展示し、来場者の意見を募った。 ・景観セミナーでは「まちなみと防災、共存を探る」をテーマに、トークセッションにおいて、ゲストの考え方を引き出すことができた。 ・景観セミナーでの質疑応答やアンケート結果においても、「まちなみ×防災」という切り口に対して参加者の関心が深まり、メンバーとしても考察の視点が広がった。 ●先進事例を収集、阪神南地域への展開 <ul style="list-style-type: none"> ・防災目的とする新川水門建設により、今津灯台が移転したことを契機に、巨大防災施設と景観の共存についてより深く考えることとなった。 ・市内の水害被害対策施設や、市外の南海トラフ巨大地震の津波対策施設の視察では、まちなみとの関係を探る上で大いに参考になった。 ●倶楽部メンバーの景観に対する知見向上、今後の景観啓発活動への展開 <ul style="list-style-type: none"> ・景観セミナーでは、3年連続で西宮市より景観行政に関する話題提供を行なっていた。一般市民にきちんと届いていない情報を繰り返し伝えることが重要であることはアンケート結果からも確認できた。 ・また、「まちなみ×防災」のテーマでの活動は3年前から行なっているが、始めた頃と比べてメンバーの知見が深まった。
<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●まちなみを見る新しい切り口「防災」 <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展、景観セミナーともに、「まちなみ×防災」を切り口とする考察に関心を示す参加者が多かった（アンケートより）。 ・まちなみ発見MAPを利用した「まちなみさんぽ」や西宮市3都市宣言周年記念事業として位置付けられたまちあるき（西宮みなと今昔）においても、必ず防災の視点を取り入れたガイドを行い、参加者に対して「まちなみ×防災」への啓発を続けた。 ・メンバーの考察も進化し、提言・提案につながった。ここでの提案を来年度以降、具体化する予定である。 ●行政との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・3年連続景観行政に関する話題提供を行ったことで、景観行政を担う市の担当部署との信頼関係も得られ、パネル展&景観セミナーの開催において連携が実現した。（今年度は両方の会場使用料を市に持っていただくこととなった） ・市の周年事業担当部署からのまちあるきのオファーもあり（委託ではなくあくまで連携事業という位置付けだが）、倶楽部の活動の信頼度が高まってきたと言える。（来年度も連携事業を予定している） ・パネル展が倶楽部の活動のPRの機会となり、図書館や公民館講座へのパネルの貸出も増え、露出機会が増えたと言える。 ●自主財源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきや景観セミナーの参加費を1,000円にしたことで、参加人数は減ったものの、まちなみにより関心の高い参加者が増えた。 ・新たなツールとして、オリジナルクリアファイルを作成し、販売した。 ・臨海部MAPの完成はならなかったが、2015年発行のMAP4甲子園の改訂版は発行できた。甲子園は2024年、100周年を迎えることで、関心の高いエリアでもあり、売れ行きは好調だった。 <p>*まちあるき、MAP作成に関する経費に、阪神南ふるさとづくり応援事業の補助金を充てていないが、成果をパネル展で発表しているので、関連する内容として記載した。</p>

補助金交付
終了後の事
業展開、今
後の展望

- ・「まちなみ×防災」に関する調査研究活動を引き続き行うと同時に、具体的なエリアを設定し、まちなみ景観の提案内容の検討も進める。
- ・今年度完成できなかったまちなみ発見 MAP^④臨海部を次年度早々に発行し、「まちなみ×防災」の視点によるまちあるきを実施し、参加者への啓発につなげる。
- ・発行年が古いまちなみ発見 MAP の改訂版の発行を急ピッチで進めるほか、パネル展示内容の冊子化、オリジナルツールの開発などにより、自主財源確保に務める。
- ・パネル展では高齢者の姿が目立ったが（60歳以上が半数以上）、景観セミナーでは現役世代の方が多かった。景観セミナーは良い内容なのに参加者が少ないのが残念という声も聞かれ、PR不足は否めない。一方で、パネル展でのガイドツアーやミニさんぽには大勢の参加があった。今後は、参加しやすいプログラムの実施や参加者を惹きつけるPR（例えばタイトルやゲストを柔らかくするなど）、媒体の見直しも積極的に行っていく。

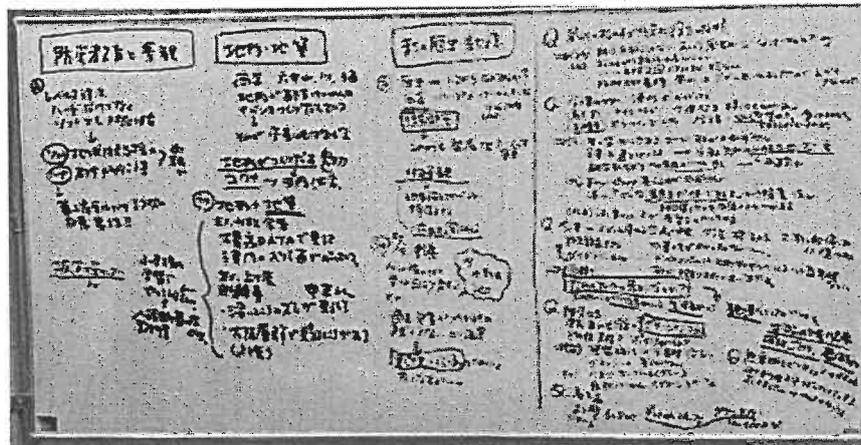
事業実施状況を示す写真



受付風景



直前の打合せ



トークセッションは、ホワイトボードに内容を記録した

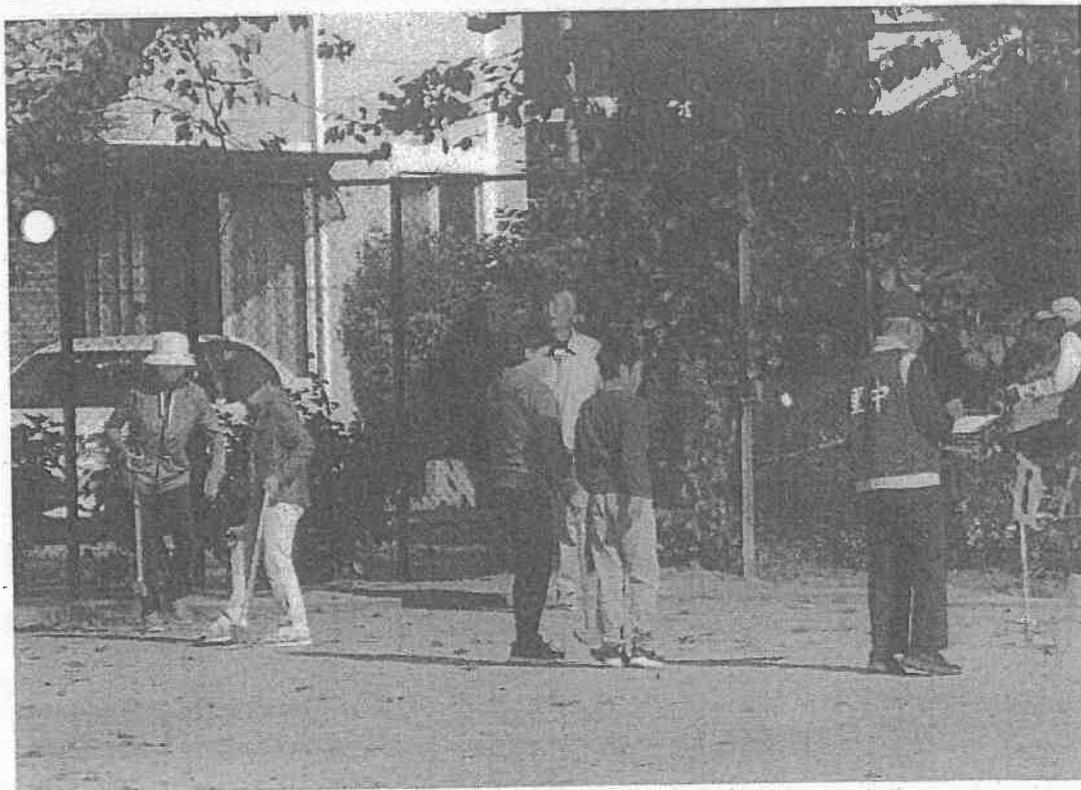


マイクのテスト

B-17 コミュニティ活性化グラウンド・ゴルフ整備事業／西宮市里中町自治会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>地域住民の高齢化が急速に進んでいる状況下、行事等のマンネリ化に伴って種々イベントの参加者の減少傾向が著しく、コミュニティの結びつきが弱くなり孤立化の拡大が懸念されている。</p> <p>こうした状況を改善するため、またフレイル対策にも一定の効果を期待できるものとして、高齢者のみならず子どもや若い世代にも参加を募り、地域の活性化を図るとともに住民同士の結びつきを強め自治会活動に若い世代を取り込むことを目的とした。</p>
事業内容	<p>1. グラウンド・ゴルフ用スタートセットの購入（5月）</p> <p>2. 第1回グラウンド・ゴルフ体験会の開催（10/28(土)）</p> <p> 事前に掲示板にポスターを掲示、チラシを各戸配布し、“ふれあい喫茶”などで周知を図り参加を誘った。</p> <p> 当日は準備運動（ラジオ体操）から始め、ルール、マナーを簡単に説明し、練習ラウンドを経てグラウンド・ゴルフ体験会を実施した。</p> <p> 実施月日：10月28日 09:00～11:00 参加者数：23名（主に高齢者）</p> <p>3. グラウンド・ゴルフ体験会の開催（12/3(日)、12/17(日)、2/28(水)）</p> <p> (土)(日)の開催には小学4年生以上を対象として、寿公園運動場にてグラウンド・ゴルフを楽しんでもらうことができ、また会話も弾んで一定の目的は達成した感があった。また、好成績者には賞品も贈呈した。</p> <p> なお、1/18と2/1に開催を予定していたが、雨天により中止とした。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数		
						スタッフ	参加者	
事業経過	5	6	14	自治会館	運営会議	6	約 20	
			9	自治会館	同上	6		
		10	5	会館、町内	ポスター作成、チラシ配布 (以降、適時掲示・配布)	6		
			20	寿公園	グラウンド清掃整備			
		10	28	寿公園	グラウンド・ゴルフ体験会	5		23
		12	3	寿公園	グラウンド・ゴルフ体験会	5		21
		12	17	寿公園	グラウンド・ゴルフ体験会	6		23
	6	1	18	寿公園	雨天中止			
			2	1	寿公園	雨天中止		
			2	28	寿公園	グラウンド・ゴルフ体験会	6	12
目標の 達成状況	<p>普段あまり野外で身体を動かさない高齢者もお喋りしながら楽しんでもらえた。「楽しかった」「次も参加したい」の多くの声あり)</p> <p>多くの小学生の参加を期待していたが、学習塾や習い事とバッティングして目標より少なかったが、目指した目標に一步近づいていると思われる。</p> <p>また周知については、ポスター、チラシのほか自治会の種々集まり等の機会を活用することで一定の効果があった。</p>							
事業効果	<p>老若男女問わずオープンにお喋りしながら軽い運動ができ、人と人との新たな出会いの場を作ることができて高齢者の生きがい活動の推進、地域社会づくりに貢献できた。</p>							
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>高齢者のみならず子どもや他地区の人々にももっと参加を呼びかけ、より交流が深まるよう取り組みたい。</p> <p>参加意欲を高めてもらうための景品購入や用具の拡充などについて、補助金に頼らない運営が可能となるよう参加費の徴収等を考慮したい。</p>							



里中グラウンド・ゴルフ体験会

日時 2月28日(水) 9:00~10:30
場所 里中町寿公園
対象者 小学4年生以上
参加費 無料
その他 動きやすい服装でご参加ください。
飲み物は各自でご持参ください

小雨決行



初めての方も、
道具をお持ちでない方も、
安心してご参加ください

この事業は兵庫県阪神南県民センター「阪神南ふるさとづくり応援事業」の補助金を活用して実施いたします。

【お問い合わせ】

1丁目 小 西 (080-5712-8855)
2丁目 船 越 (090-9618-7914)
3丁目 寺 坂 (080-6647-7629)

= 里中町自治会 =

B-18 「第76回西宮市民体育大会」の「第10回小学生スナッグゴルフの部」
／一般社団法人西宮市ゴルフ協会

活動地域	西宮市						
協働団体	兵庫県阪神南青少年本部 兵庫県ゴルフ連盟 西宮カントリー倶楽部						
事業の目的・趣旨	スナッグゴルフの練習会及び名門ゴルフ場での競技大会を通じて指導し、実践を通じて体現するようにしています。ゴルフ、スポーツへの親しみ、楽しみを醸成しています						
事業内容	<p>西宮市や周辺市町の小学生を対象に、4回の練習会を経て、西宮カントリー倶楽部での3～6年生の競技大会・1～2年生は保護者とのペア競技を開催し、ルールやマナーの順守を学び、またゴルフ競技の楽しみを体感してもらいます。</p> <p>また競技優秀者は、スナッグゴルフの西日本大会への参加を行います。</p> <p>なお実施には、西宮市教育委員会・各地小学校や兵庫県ゴルフ連盟、兵庫県阪神南青少年本部等多くのご支援を受けて実施しています</p> <p>本年は、対象小学生を西宮市・尼崎市・芦屋市以外にも広げ、また、全国大会の予選としての西日本大会への参加をも目指すことにより、より緊張した体験・研鑽を期待する</p>						
事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	23	7	1	西宮市中央運動公園グラウンド	小学生対象のスナッグゴルフの第1回練習会	雨	中止
		7	24	同上	同上 第2回	23名	39名
		8	2	同上	同上 第3回	27名	49名
		8	9	同上	同上 第4回	28名	44名
		8	15	西宮カントリークラブ	スナッグゴルフ大会の準備	台風	中止
	8	16	同上	第19回スナッグゴルフ大会	警報 (41名)	中止 (87名)	

<p>目標の 達成状況</p>	<p>4回の練習会のうち第1回目は雨天のため中止になったが、第2、第3、第4回目は予定通り実施できた。ただ、今夏の厳しい暑さのためキャンセルや当日欠席も多くなり、小学生の参加は各回それぞれ39～49名になり、スタッフも予定より少し少なくなった。なお、スタッフには7月1日別途講習会を実施し、25名の参加があった。</p> <p>8月16日のスナッグゴルフ大会当日は、台風余波の大雨警報が出て、当協会からは中止の連絡を行ったが、当日約70名の小学生、60名の保護者が西宮カントリー倶楽部に参集された。当協会は、西宮カントリー倶楽部と協議のうえ、みなさん1番ホールのティグラウンドに案内し、スナッグゴルフの話やゴルフ競技の仕方・楽しみなどを説明し、参加賞をお渡しした。また当日来場できなかった参加予定の小学生には、後日事務所にて、全員に参加賞を渡すことが出来ました。</p>
<p>事業効果</p>	<p>小学生児童のゴルフ、スポーツへの興味を高めることにより青少年の健全な育成を図り、父兄保護者との協業を通じ、また小学校・各種団体や企業との連携により家庭や地域との一体化を促進しようということは、ある程度達成できた。</p> <p>残念ながら大雨警報のため、大会そのものは開催できなかったが、多くの小学生、保護者が会場にわざわざ集まっていたことは、その証左でもあらうと思われる。このことは、市民スポーツとしてのゴルフの普及、発展にも寄与してゆくものと期待される。</p>
<p>補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望</p>	<p>県民・市民の健康増進・ゴルフの普及・発展を図るため、小学生児童及び保護者の興味を高め、スナッグゴルフ大会事業の円滑な運営につなげていく。</p> <p>また、野外でのびのびと身体を動かし、競技を通じルールやマナーの順守の精神を体得しスポーツの喜びを実感してもらうようにしてゆきたい。</p> <p>地域の協賛事業者様の各種商品に参加賞や賞品とすることにより、地域の皆様と地域事業者様との親近感の醸成も図り、地域の活性化にも貢献してゆく。</p> <p>GJTO 主催の全国大会の参加については、西宮市より例年2校が出場しており、今年度は9月23日の加東市の大会に参加させていただき、西宮市からは8校56名が出場し、その結果で2校が選ばれ、11月4日の三木市三木ゴルフ倶楽部の大会に出場します。この間、当協会が小学生のサポートを行います。</p>

事業実施状況を示す写真

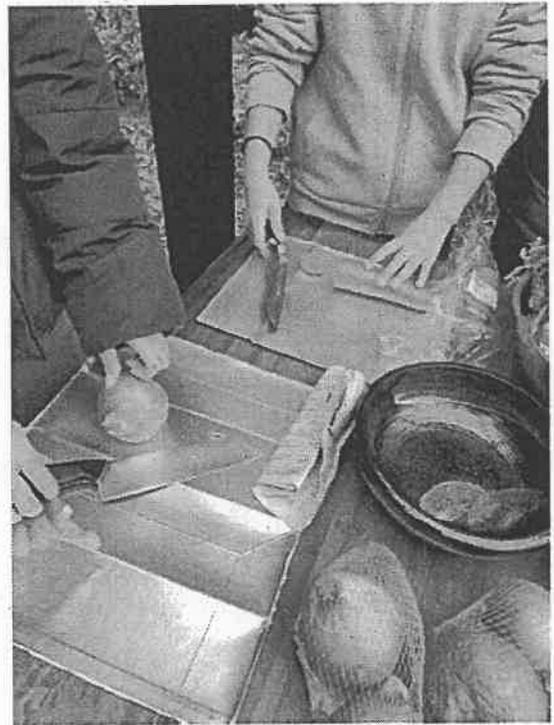


B-19 西宮里山 親子の学校/NPO法人 a little

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>アウトドア体験や自然体験が難しいひとりおや家庭に向けて里山体験を開催し、自然教育、子どもの健全育成につなげる。ひとり親同士のほか、開催協力していただく大学生や北部の農家と遺書に過ごすことで、西宮の北部南部の交流、子ども・若者世代、シニア世代の交流を図る。</p>
事業内容	<p>月に一度開催しているひとり親向けの食料支援や交流会に参加している親子向けに、農業体験・バーベキューを開催し、ひとり親家庭を真ん中にあらゆる世代が交流を図ることができた。</p> <p>11月25日・12月16日の2日間</p> <p>8:45 阪急西宮北口駅集合</p> <p>9:00 出発</p> <p>9:30 マイクロバスにて船坂へ到着</p> <p>10:00 キャンプ場にてオリエンテーション</p> <p>10:30 農業体験 (11月サツマイモ収穫 12月里芋・ネギ収穫)</p> <p>12:00 バーベキュー</p> <p>14:00 ネイチャーゲーム</p> <p>15:00 マイクロバスにて出発</p> <p>16:00 西宮北口到着・解散</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R5	7	1	船坂 ↓	事前準備 打ち合わせ・畑整備手伝い	2	
		11	25	↓ ↓ ↓ ↓ ↓	・農業体験 ・ネイチャーゲーム ・バーベキュー	10 10	20 20
		12	16	↓	畑の整備手伝い	2	
目標の達成状況	<p>参加人数 1 回目親子 6 組 18 人 2 回目親子 5 組 16 人 開催協力者 ボランティア各回 5 名 農家 3 名 開催 2 回</p>						
事業効果	<p>農業体験・バーベキューが初めてのお子さんが多く参加してくれ、良い体験になったと声をもらいました。自然の中で過ごすことで、子どもたち同士だけでなく、親同士も会話する姿が見られ、交流が深まったことが感じられた。 その後の食料支援日では顔見知りとなったことから、交流が広がっている。 また、ボランティアでかかわった方が継続的にひとりおや支援に加わってくれていることや、畑作業にも参加してくれている。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>年間を通して農業や自然体験をすることで、食べ物や生き物の生命力が感じられるプログラムを実施したいと考えている。 ひとり親家庭をまんなかにして、市民ボランティアの育成を進めたいと考えている。 参加者から参加料を徴収することが難しいため、助成金や補助金申請、寄付などを募って運営する。</p>						

事業実施状況を示す写真



B-20 都市と農村がつながろう！「ひょうごつながいフェスティバル」/みやばく

活動地域	西宮市							
協働団体								
事業の目的・趣旨	<p>【都市と農村を繋ぐイベントの開催】</p> <p>兵庫県内には農村部があり化成肥料や農薬に頼らない方法で食材を生産されている農家さんが多数いらっしゃいます。都市部には安心な食材を求める人がたくさんいます。都市部に住まう方が農家さんを「知る・繋がる」きっかけをつくることで、食を通じて人の繋がりが形成されていくと考えます。「都市部における購入窓口の不足」と「農村部における販売チャンネルの不足」という2つの課題を同時に解決する為に、人と人がリアルに出会うことができる場づくりを考えています。</p>							
事業内容	<p>対象者：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部（阪神間エリア）に暮らす安心食材を求める人＋食への関心が今のところ薄い方 ・都市部の保育園や学校・高齢者施設など食を提供する施設や組織に関連する方 ・農村部で有機や自然栽培を手掛ける小規模農家さん <p>実施方法：西宮（予定）エリアでの食と農をテーマとしたフェスティバル（マルシェ）の開催</p> <p>イベントでは「食」を通して多世代が交流する活気あるコミュニティづくりを目指したいと考えています。お野菜やお米の販売や食べ比べ、食を取り巻く情報発信、多世代が交流できる参加型ワークショップ等の実施。また食に関心が薄い方にも気づいてもらえるイベントとなるように、音楽やダンス等異なる文化も取り入れ、多世代が1日楽しめるイベントを実施。</p>							
事業経過	R5	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
							スタッフ	参加者
			6	27	会議室	打合せ（執行部）	5	
			7	25	会議室	打合せ（執行部）	5	
			7	29	六湛寺公園	マルシェ出店でイベントPR	5	
			8	22	自宅	打合せ（執行部）オンライン	6	
			8	31	カフェ	音響さん打合せ	3	
			9	4	西宮浜	会場下見	2	
			9	14	西宮浜	会場施設打合せ	4	
			9	26	自宅	打合せ（執行部）オンライン	5	
			9	26	西宮浜	音響さん打合せ	2	
			9	30	自宅	広告物作成・マルシェ出店調整	2	
			10	4	自宅	打合せ（執行部）オンライン	2	
			10	13	西宮浜	モルック主催者打合せ	2	
			10	24	会議室	打合せ（執行部）	5	
			10	31	西宮浜	マルシェエリア打合せ	3	
			11	6	カフェ	楽器レンタル打合せ	2	
			11	16	消防署	火気使用申請手続き	1	
			11	16	西宮浜	チラシ告知活動	2	
			11	23	西宮浜	フェス開催	15	
	11	28	会議室	反省会	5			
	12	20	オンライン	活動報告 SNS 発信	2			

<p>目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食や農に関心の薄い層へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 音楽ステージは学生バンドが出演することにより来場層も10代の若い世代が会場へ足を運ぶきっかけとなった ⇒ お昼の時間帯に市議会議員さんによる西宮市の食に関するトークショーを開催しどのような街にしていきたいか、現状どのような課題があるのか等日頃遠い存在の議員さんの話を直接聞いてもらうきっかけとなった ・多世代が交流するコミュニティの場づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ⇒ まずは来場300名を目標としていたが当日は本当に300名強の参加を頂けた ⇒ 店舗さんは完売されたお店も多く出店者さんと来場者さんの会話も弾んでいた。出店者さんから「会場の雰囲気」「来場者さんとの会話」すべてが楽しかったとお言葉を頂いた。⇒ 会場の管理事務所さんからも「集客力がすごいですね」とお言葉を頂き、次のイベントも相談させてほしいとお声お頂いた。
<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェのみの開催ではなく、音楽やダンス・スポーツを同時開催することで多世代が足を運ぶきっかけを作ることができた。 ・周知についてはチラシの配布（市内全保育園施設）西宮浜エリア掲示板への掲出開催予定地での事前告知、市政ニュースへの発信、公式ホームページの制作、SNS、西宮つうしん（Webマガジン）等のフル活用により発信が広がった。またマルシェ出店者さんはじめ、バンド出演する大学生やヨガインストラクター、ダンス出演のダンスチーム等様々な関係者様の発信からも告知ができ大きな効果を得ることができた。 ・市議会議員さんのトークショー開催により市としての取り組みや今後の展望等日頃あまり耳に入らない情報を市民の皆様に届けることができた。
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 農家さんと直接つながる機会をつくりたいので農家さんの出店をもう少し増やしていきたいと思う 2) 学生バンドさんの影響力が大きいことが分かったので、次回は市内の大学生に参加してもらうなどバンドだけではなく若い知恵と力を取り入れたい。（大学の農業系サークルさんとはコンタクト済み） 3) 今回は時間と場所の関係で難しかったが、子育て世代にももっと足を運んでもらいたいのでキッズダンスチームやダンスワークショップ等同時開催も検討したい。子供と一緒にもしくは子供さんが参加できるワークショップの店舗を検討していきたい 4) 高齢者の方の参加が少なかったため今後は地元の老人会等お声がけする等交流の方法を検討したい 5) 今回は議員さんのお話を聞くことができたので、一歩ずつオーガニック給食に向けてどのような取り組みができるのか市内事業者さんや興味を持ってくれた市民さんと勉強会や仕掛けづくりなど進めていこうと思う 6) 資金面では、地域のお店や企業さんからの協賛を募る等補助金に頼らないイベント事業運営ができるよう努めていきたい。またもう一つの事業として、安心安全のお野菜やお米を作る農家さんをご紹介できる団体として、農家さんと企業さんの橋渡しの役割を担い、各企業の健康サポートのお手伝いができるか等模索していきたいと思っている

事業実施状況を示す写真



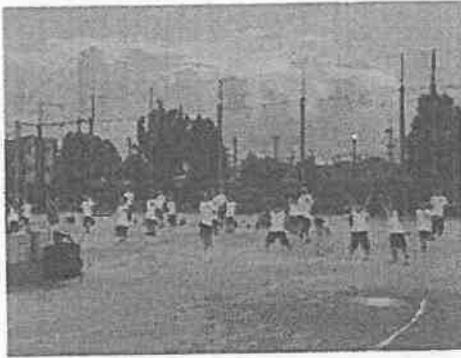
B-21 夏のお楽しみ会／段上地区青少年愛護協議会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の目的・趣旨	他団体（段上小学校 PTA、中・高生ボランティア、ボーイスカウト、地域団体など）に協力を要請し、得て、共に子供たちの健全育成につながるよう心のふるさとづくりに努める。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 8月20日(日) 18時～20時30分 開催前の急な降雨により、ステージ発表の時間を30分遅らせて実施 ・場所 段上公園(西宮市段上町8-15) ・対象 段上小学校児童とその弟妹(事前申し込み制)、保護者付添い可 ・参加費 200円 ・内容 <p>①子供縁日の開催 模擬店(わなげ、くじびき、おかしつり、ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、まとあて、ほしのかんさつ)を出店。子供たちは、事前に配布した参加券を使って各模擬店をまわり、スタンプを集めた。</p> <p>②ステージ発表 公園内運動場にステージを設け、日頃子供たちや地域住民が取り組んでいる活動の発表をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NDS. Jampers(ロープジャンプ、ダンスパフォーマンス) ・地域住民(ギター演奏) ・スピンドルバトンクラブ(バトン演技) ・スポーツクラブ21段上に所属する6年生(盆踊り(段上音頭)) ・花火(葛城煙火(株)) <p>③お楽しみ抽選会の実施 参加券にあらかじめ番号を記入。主催者が番号の札をひいて当選者を決定。 当日は西宮市の許可を得て段上公園を貸切にし実施。各模擬店には中高生ボランティア、保護者ボランティア、地域ボランティアに協力を依頼。地区の防犯協会、小学校・中学校の地区愛護委員が公園周辺のパトロールや交通整理にあたった。</p>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	5	6	6	段上公民館	段上地区青少年愛護協議会 6月定例会にて広報	12	60
		7	4	段上公民館	段上地区青少年愛護協議会 7月定例会にてボランティア の募集	12	60
		7	4	地域交流室	運営会議	12	
		7	12	段上小学校	参加者の募集お手紙配布	3	
		7	18	段上小学校	参加者の受付	4	
		7	19	段上小学校	参加者の受付	4	
		8	4	地域交流室	運営会議	10	
		8	5	地域交流室	会計 打合せ	5	
		8	6	段上公民館	準備会議 (ボランティアとの打合せ)	14	20
		8	9	地域交流室	庶務 打合せ	4	
		8	18	段上小学校	準備物確認	4	
				地域交流室			
		8	19	地域交流室	運営会議	14	
		8	20	段上公園	夏のお楽しみ会 実施	14	1,065
		8	21	段上小学校	片付け	4	3
				地域交流室			
		8	22	地域交流室	御礼状 配布	3	
	9	5	段上公民館	段上地区青少年愛護協議会 定例会にて報告	12	60	
					12		
	9	5	地域交流室	反省会	12		
目標の 達成状況	<p>「夏のお楽しみ会」参加児童 433名、未就学児 118名、保護者 312名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ発表 5組 103名(含、夏のお楽しみ会参加者 51名) ・中高生ボランティア 49名 ・地域ボランティア 86名 <p>参加者、地域ボランティアは予定参加人数を上回った。 中高生ボランティア、出演者は当日欠席者もあったが、ほぼ予定どおりだった。</p>						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは参加をすることで、夏休みの楽しい思い出となる。 ・子どもたちはステージで発表する機会を得て、達成感が得られる。 ・子どもが参加することで、保護者にも地域(青愛協)の活動に興味を持ってもらえる。 ・地域住民がボランティアに参加することによって、つながりが生まれる。 ・中高生がボランティアに参加することによって、社会貢献について考えてもらう機会になると同時に、様々な世代が集うことで地域活動の土壌が豊かになる。 						
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>新型コロナウイルス感染症の影響や段上小学校校舎の長寿命化工事により、中止となった令和2,3年度の『段上地区夏まつり』に代わる行事として、令和4,5年度に『夏のお楽しみ会』を実施した。段上地区で、形を変えながらも夏のイベントを継続して実施できたことは大きな意味があった。</p> <p>来年度は、段上小学校校庭で『段上地区夏まつり』を復活させる予定である。参加対象者を限らず、8月中旬に2日間実施。実行委員会の形をとり、地域の方と一緒に運営する予定。より段上地区の活性化を図れるよう、努めていきたい。</p>						

事業実施状況を示す写真

NDS.Jampers



地域住民



スピンドルバトクラブ



段上音頭



おかしつり



くじびき



スーパーボールすくい



ほしのかんさつ



B-22 2023 みやっこ音楽回廊実施事業／みやっこ音楽回廊実行委員会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の目的・趣旨	ライブやレコード、レクチャーなど多様な音楽イベント・活動を通じて地域や世代間の交流を促し、地域コミュニティの活性化を目指すとともに「音楽と出会うまち」西宮を内外に向けて発信する
事業内容	<p>1 シティポップワンダーランドの開催 (6/18 夙川公民館講堂 参加者 約 100 名)</p> <p>世界で人気が高まっている日本の音楽「シティポップ」をテーマに2部形式のイベントを開催。30歳から95歳まで約100名の来場者があり(最多年代は50代)、会場アンケートでは80%を超える方から「非常に満足」「良かった」と評価を頂いた。</p> <p>・実施内容</p> <p>1部 音源とトークで楽しむシティ・ポップ・アラカルト 西宮のコミュニティラジオ局で番組パーソナリティを務める安来菜美さんの選曲解説により1970年代の名曲を中心に音源で紹介</p> <p>2部 地域で活動する3組のアーティストによるライブステージ 西宮市及びさくら FMによる後援、地域の音楽喫茶スイートメロディに協賛頂き、プロの手を借りない自主運営イベントとして開催。</p> <p>2 昭和ブギウギワンダーランドの開催 (9/23 西宮市甲東ホール参加者 約 140 名)</p> <p>この10月よりスタートしたNHK連続テレビ小説(朝ドラ)「ブギウギ」の主人公笠置シズ子と服部良一をテーマに講座とライブを開催した(入れ替え制)。</p> <p>・実施内容</p> <p>1部 大衆音楽研究の第一人者で「昭和ブギウギ」の著者・輪島祐介氏を講師に迎えた講座。聞き手はラジオパーソナリティの安来さん。</p> <p>2部 3組のアーティスト出演によるライブ。笠置シズ子のヒット曲や後半にはダンサーも交えたステージで会場盛り上げた。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	6	6	11	パブ WEX	ブルーグラスバンドによるライブ	5	30
		6	18	夙川公民館・松下記念ホール	シティポップの代表音源紹介とライブステージ	8	100
		9	23	甲東ホール	NHK 朝ドラ「ブギウギ」関連講座とドライブ	13	130
目標の達成状況	<p>今年の活動目標とした「みやっこ音楽回廊」の存在を幅広く知って頂くという点では一定の効果があったと思う。6月と9月のホールイベントを通じて、ローカルメディアや地域のキーパーソンと繋がりができたこと、活動に共感しサポートや協力してもらえるメンバーも徐々に出来つつあることも一つの成果と考えられる。加えてこの半年の間に、企画運営の過程や経験から様々なノウハウの蓄積ができたことも今後の活動に向けてのステップとなる。</p> <p>集客においては目標達成はまだまだ厳しい状況であるが、地道なプロモーション活動やメディア対策が必須であると考えます。</p>						
事業効果	<p>様々なステークホルダーの方々にみやっこ音楽回廊の活動を知ってもらうことにより、社協や地域の自治会などからレコードサロンやライブイベントの依頼を受けるようになった。地域を巻き込み世代を超えた交流を図るという目的に向けてのステップとして捉えている。</p> <p>行政(文化振興課)や文化振興財団、コミュニティーFMとの関係を今後さらに発展させることにより、プラスアルファの事業効果が生まれると考える。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>来年度の事業展開においては下記の3つの柱を中心に展開する。</p> <p>1 ホールイベント (ワンダーランドシリーズ)の継続 私たちの活動を幅広く知ってもらうショーケースとして 100~200人規模の話題性・企画性のあるイベントを年に1~2回開催する</p> <p>2 ミュージックアレイ (音楽横丁) の展開 公民館や音楽スポット(ライブハウス)を活用した20~30人程度の小規模イベントを定期的で開催。地域の音楽縁人との交流を深める</p> <p>3 アウトリーチ活動 (地域コラボ) 地域団体(社協、自治会、NPO)や高齢者施設との連携による出前イベント(レコードサロンなど)を積極的に展開する</p> <p>収支においても、参加費徴収や助成金以外に幅広く財源を確保すべく、地元企業の協賛獲得やCFも視野に入れた運営を目指す</p>						

事業実施状況を示す写真



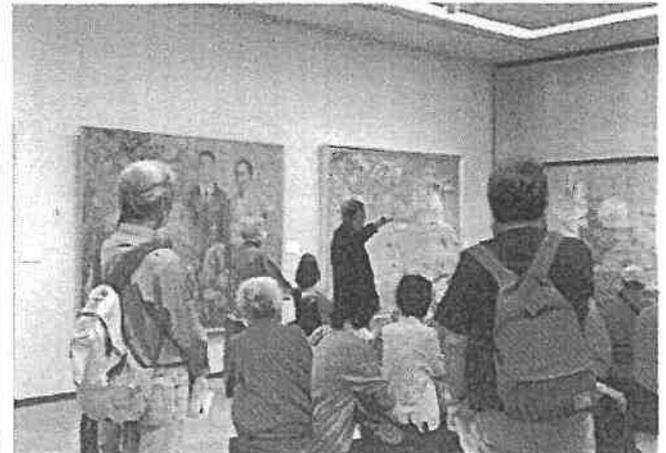
B-23 阪神間モダニズムの活性化伊藤弘之 さくら回廊展／阪神文化交遊会

活動地域	尼崎市・西宮市・芦屋市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>阪神間モダニズムの活性化を目指し、尼信会館での1ヶ月の絵画展示を行うだけでなく、ビジョン2050に沿ったギャラリートークを開催することにより、文化共生環境づくりの基盤を作るべく、市民へのアピールを進める。</p> <p>絵画展示により尼崎文化地区におけるスタンプラリーにおいて、芸術文化の内容を高めること。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・伊藤弘之 さくら回廊展開催 令和5年10月7日(土)～11月12日(日) 於 尼信会館1F 展示室 建設が進められている西宮総合医療センターへの寄贈内定作品を含む大型作品 25点を展示。好評を得た。 ・第一回ギャラリートーク 10月7日(土) 13時から 於 尼信会館1F 展示室 参加者 約28名 ・第二回ギャラリートーク 10月7日(土) 14時30分から 於 同上 参加者 約25名 <p>“愛好者の参加にとどまり公益性に問題あり”との企画審査委員からの指摘に留意し、トークのテーマとして“くらしのなかのアート”と、“制作内容”、“健康とやすらぎ”を強調した内容で展開。講師として依頼していた県会議員大前はるよ氏(阪神文化交遊会のメンバーでもあり、西宮選出議員であり友人)が、当日コロナ感染したため、大江尼信会館館長に出演を依頼し、対話形式でギャラリートークを展開。</p> <p>受付で来場者にギャラリートークの告知をしたこともあり、事前参加希望者のみならず飛び入り参加者もあった。</p> <p>ギャラリートークは作者本人から話を聞いたり、直接質問できたりと、アートを身近に感じられて楽しかった、との感想を多数いただいた。</p> <p>展示作品についても、鑑賞者から、素晴らしかった、楽しかったとの声を多数頂いた。(大江館長からの礼状を参照)</p>

<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>2024年3月13日（水）から3月26日（木）に神戸BBプラザ美術館にて伊藤弘之 米寿展の開催を予定している。この展覧会は一画家の展覧会ではあるが、同時期に西宮市大谷美術館にて開催される「須田国太郎の芸術—三つのまなざし—」展 2024年3/2-4/21（須田国太郎は伊藤の恩師）、3/19-24には兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリーにて、第90回記念独立大阪展（独立美術協会は伊藤が研鑽の場として選んだ美術団体）と、3つの美術展が同時期に開催されることによりシナジー効果が期待され、阪神間モダニズムの活性化に一石を投じる催しになると思われる。次年度以降も阪神文化交遊会と共に今年度同様の活動を継続することを構想している。</p> <p>ふるさとづくり応援事業であったが、補助金額が少なく阪神間モダニズムへの活性化の実現のために時間をかけて行うためには、個人負担が大変である。この補助金交付の対象を団体だけでなく個人へも拡大していただくことを希望。西宮総合医療センター（仮称）への寄贈作品展示であったが、開催中、めいわりハビリテーション病院への寄贈の話が実を結び、3点を決めていただいた。市民の皆さんの“くらしの中で生きるアート”がたくさんある、文化的に豊かな世の中になるように、との作家個人としての活動をさらに応援していただくことを望みます。</p> <p>芸術の目的とは 私たちの魂から 日常生活のほこりを 洗い流すことだ ——パブロ・ピカソ</p>
----------------------------	---

事業実施状況を示す写真





B-24 地域高齢者のいきがいと多世代交流の活性化事業／なないろの会

活動地域	西宮市								
協働団体									
事業の目的・趣旨	老人会メンバーは高齢化が進み、外出する回数も減ってきている。子供の参加も少ない。その現状を打開するため、イベントを企画し、楽しい集いの場として、多世代交流する機会を増やすことを目的にした。								
事業内容	<p>10月22日（市住集会所） フリーマーケットとボッチャ体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケット：手作り作品や雑貨類を各ブース別に販売 農家さんちの野菜販売 ・ボッチャ体験会：子供の参加が少なかったが、大人も参加し楽しみました <p>1月28日（市住集会所） 新春爆笑寄席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語、マジック、三味線によるパフォーマンスに大拍手。生お囃子入りの落語に感動 ・イス席が足りず、スタッフは廊下で待機する 								
事業経過	5	6	18	マイマート集会所	運営委員会	12	86		
		7	16	マイマート集会所	運営委員会	12			
	9	25	マイマート集会所	運営委員会	12				
	10	19	市住集会所	運営委員会	10				
	10	21	市住集会所	なないろフェスティバル準備	16				
	10	22	市住集会所	なないろフェスティバル	16				
	11	19	マイマート集会所	運営委員会	12				
	12	17	マイマート集会所	運営委員会	12				
	6	1	18	市住集会所	運営委員会	8			
		1	27	市住集会所	寄席準備	16			
		1	28	市住集会所	新春爆笑寄席	16			
		2	1	マイマート集会所	書類作成	5			
								参加人数	
								スタッフ	参加者

<p>目標の達成状況</p>	<p>ボッチャ体験には子供の参加が少なかった。地域が高齢化してきているので多世代への呼びかけが難しい。 寄席での参加者は年々増えてきているので良かった。</p>
<p>事業効果</p>	<p>地域的に高齢化が進んではいるが、イベントの企画を毎年開催してきているので、口コミ等もあり参加が増えてきている。チラシの配布や声かけもしているので、効果があったと思います。 フリマでは農家さんの協力でキュウリを販売し好評でした。「毎回楽しみにしているよ」と嬉しそうに声をかけてくださいます。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>身近にある集会所での開催が定着化してきて喜ばれているので、今後も続けていきたい。多世代へ参加呼びかけ出来る内容の企画を再度検討したいと思います。</p>

事業実施状況を示す写真



B-25 高校生が発見・発信する芦屋の魅力／あしや部

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の目的・趣旨	芦屋市在住の高校生が、市や地域団体・企業と協働しながら、芦屋市の価値や魅力を高校生の視点で発見、発信していく。具体的には、フリーペーパーを発行しての市内の事業所やイベントの紹介、若者目線でのイベントの開催、市政への提言などを行いながら、魅力ある芦屋のまちづくりを行っていく。
事業内容	<p>【フリーペーパーの発行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶屋さくら通り清掃ボランティア（2023年4月22日） 茶屋之町自治会、ナルク芦屋、環境グループ CG.J（精道中学校有志）と協働して茶屋さくら通りの清掃を行い、活動後、茶屋之町の西法寺で交流を行った。 ・芦屋市子ども家庭・保健センター視察（2023年4月22日） 環境グループ CG.J（精道中学校有志）と一緒に子ども家庭・保健センター視察を行い、中高生の居場所づくりについて職員とともに討議した。 ・高島新市長との懇談（2023年5月7日） 高島新市長と懇談を行い、市長の思いを知るとともに、中高生が感じる芦屋の魅力と課題について話し合った。 ・リレーフォーライフ取材（2023年6月4日） 実行委員の方より、若い世代の人のがん撲滅活動について知ってもらいたいと依頼があり、実行委員会にお邪魔して、イベントへの思いを伺った。 ・Imo Kuri Nankin 取材（2023年6月4日） 大原町の洋菓子店 Imo Kuri Nankin を訪問し、フードロスへの取り組みなどを取材した。 ・KiRa Studio 主催 親子運動会ボランティア（2023年6月18日） 市内で親子ヨガを主催されている Kira Studio 主催の親子運動会にボランティアとして参加した。 ・東山公園灯籠づくり（2023年7月16日） 夏の東山公園イルミネーションの設置を自治会の皆さんと一緒にいった。 ・リアル高校説明会（2023年7月22日） いろいろな学校に通っているメンバーがいるというあしや部の特徴を生かして、高校生活のリアルな実態を紹介するイベントを開催した。 ・あしなび6号の発行（2023年8月中旬） 20ページ 2,500部を発行し、市内に配布した。 ・三田谷治療教育院の施設見学とイベント会場下見（2023年9月10日） コロナ明け初めての祭りへの出店依頼があり、会場の下見と共に三田谷治療教育院の施設見学を行い、事業内容を伺った。

- ・潮芦屋ビーチクリーン（2023年9月24日）
 芦屋ビーチクラブが毎週日曜日の朝に行っているビーチクリーンに参加し、環境保全について体験的に学んだ。
- ・南芦屋浜ベランダサビキ釣り（2023年9月24日）
 ビーチクリーンの後、防潮堤建設の終わった南芦屋浜を訪れ、釣りをを行い、芦屋での海のレジャーについて学んだ。
- ・尼崎市立ユース交流センター見学（2023年10月8日）
 尼崎でのユース世代の居場所づくりについて学んだ。また、一緒に視察を行った岡山県の団体運営者や寝屋川市の高校生とも交流した。
- ・パレット主催でこぼこパークボランティア（2023年10月8日）
 任意団体パレットが主催の、多様性を重視したイベントにボランティアとして参加した。
- ・第10回桂福丸落語会ボランティア（2023年10月22日）
 芦屋神社で行われた、桂福丸氏の落語会にボランティアとして参加した。ボランティアの後、落語会の主催者の方や福丸さんに落語会や落語についての思いを伺った。
- ・潮芦屋ふれあい秋まつりボランティア（2023年11月4日）
 潮芦屋エリアでおこなれた秋祭りにボランティアとして参加した。
- ・喫茶 レマン取材（2023年11月19日）
 打出アーケード商店街にある喫茶店レマンを訪問し、商店街の現状などについて取材を行った。
- ・若者相談センター「アサガオ」訪問（2023年12月16日）
 「アサガオ」の運営について、委託先のメンタルサポートセンターの職員に課題と展望を伺った。
- ・Open Learning Project 取材（2023年12月20日）
 朝日ヶ丘町の学習塾を訪問し、コロナ禍の対応や経営について伺った。
- ・西法寺、阪神・淡路大震災犠牲者追悼法要 参加（2024年1月17日）
 茶屋之町の西法寺で行われた阪神・淡路大震災犠牲者追悼の法要に参加し、参加者の方から思いを伺った。
- ・茶と菓といい日 取材（2024年1月18日）
 公光町のお茶専門のカフェを訪問し、オープンの経緯やお茶へのこだわりについて教えていただいた。
- ・潮芦屋ふれあい元気もちつき ボランティア（2024年2月4日）
 潮芦屋エリアで行われたもちつきイベントにボランティアとして参加し、地域の方と一緒にもちつきを盛り上げた。
- ・潮芦屋ビーチであそぼう！ ボランティア（2024年2月11日）
 子ども会連絡協議会主催の潮芦屋ビーチでのイベントにボランティアとして参加し、多くの子供たちと関わりを持てた。
- ・あしなび 7号の発行（2024年2月29日）
 20ページ 2,500部を印刷し、市内で配布した。

【カードゲームの作成】

- ・ミーティングにて、ゲームバランス、役について話し合った。
- ・印刷費の高騰により、予算内ではフリーペーパーの印刷費しか捻出できず、製品化はできなかった。

【地域イベントへの出店】

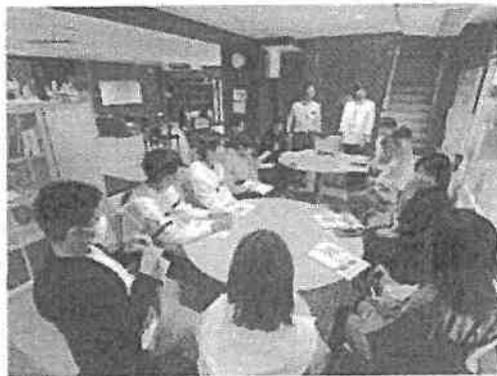
- ・潮芦屋ふれあい桜まつりへの出店（2023年4月1日）
潮芦屋ふれあい元気の会主催の桜まつりに縁日を出店し、潮芦屋地域の子供や高齢者の方と交流した。
- ・ふれあいあしや部高校生カフェ（2023年4月2日）
芦屋さくらまつり当日に、リードあしやでカフェと縁日を実施し、多くの世代の方に来場いただいた。あしや部の活動紹介コーナーも設置し、あしや部の活動についても知っていただいた。
- ・ゴージャスフェスタ出店（2023年5月5日）
芦屋市立体育館・青少年センターで、芦屋市体育協会と芦屋市子ども会連絡協議会主催のイベントに出店した。多くの子供、保護者の方と交流した。
- ・焚き火バル @ 旧宮塚町住宅前広場への出店（2023年7月15日）
任意団体パレットが旧宮塚町住宅前広場で主催したイベントに出店し、地域の方や旧宮塚町住宅のお店の方と交流した。
- ・精道コミスク夏祭りへの出店（2023年7月29日）
精道コミスク主催の夏祭りに出店し、コミスクの方たちと協働で準備や片付けも行った、かなり多くの子供たちの来場があり、交流を持てた。
- ・潮芦屋ふるさと盆踊りでの出店（2023年8月26日）
潮芦屋ふれあい元気の会主催の盆踊りに縁日を出店し、潮芦屋地域の子供や高齢者の方と交流した。
- ・三田谷フェスティバル出店（2023年11月3日）
三田谷治療教育院主催のイベントに縁日の出店を行い、地域の障害を持たれた方や介助の方を中心に交流を持てた。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数		
						スタッフ	参加者	
事業経過	5	4	1	県営住宅前広場	潮芦屋ふれあい桜まつり出店	7	約 150	
		4	2	リードあしや	ふれあいあしや部高校生カフェ	10	約 200	
		4	16	リードあしや	ミーティング	2	6	
		4	22	茶屋さくら通り	清掃ボランティア	1	30	
		4	22	子ども家庭・保健センター	施設の視察	2	3	
		5	5	青少年センター	ゴーゴーフェスタ出店	10	約 150	
		5	7	西法寺	高島市長との懇談	2	15	
		6	4	青少年センター	リレーフォーライフの取材	1	5	
		6	4	Imo Kuri Nanakin	Imo Kuri Nanakin の取材	1	6	
		6	18	青少年センター	親子運動会ボランティア	1	約 30	
		7	15	旧宮塚町住宅前広場	焚き火バル出店	8	約 100	
		7	16	東山公園	イルミネーション設置	1	4	
		7	16	リードあしや	ミーティング			
		7	22	リードあしや	リアル高校説明会	2	約 30	
		7	29	精道小学校	精道コムスク夏祭り	15	約 300	
		9	3	リードあしや	ミーティング			
		9	10	三田谷治療教育院	施設見学、会場下見	1	3	
		9	24	潮芦屋ビーチ	ビーチクリーン	2	25	
		9	24	南芦屋浜ペランダ	釣り	2	12	
		10	8	尼崎市立ユース交流センター	視察（施設見学）	1	14	
		10	8	芦屋市総合公園	でこぼこパークボランティア	1	約 300	
		10	22	芦屋神社	第10回桂福丸落語会ボランティア	8	約 70	
		11	3	三田谷治療教育院	フェスティバルへの出店	1	約 250	
		11	4	県営住宅前広場	潮芦屋ふれあい秋祭り	1	約 300	
		11	19	レマン	取材	1	4	
		12	16	青少年センター	若者相談センター「アサガオ」訪問	4	3	
		12	20	Open Learning Project	取材	1	7	
		6	1	7	西法寺	阪神・淡路大震災犠牲者追悼法要	1	約 20
		1	18		茶と菓といい日	取材	1	5
		2	4		県営住宅前広場	潮芦屋ふれあい元氣もちつきボランティア	1	約 150
	2	11		潮芦屋ビーチ	イベントボランティア	1	約 50	
目標の達成状況	<p>・フリーペーパー</p> <p>・発行回数 目標 2回 → 2回</p> <p>・ページ数 目標 20 ページ → 第6号 20 ページ、第7号 20 頁</p> <p>・発行部数 目標 2,000 部 → 第6号 2,500 部、第7号 2,500 部</p> <p>・配布先 目標 50 件 → 50 件以上</p> <p>・事業効果を測るためにアンケートの協力を紙面に掲載したが、十分な数が集まらなかった。</p> <p>・カードゲームの作成</p> <p>製品化は予算の都合で実施できなかった。また、プロトタイプによる体験会を12月に実施する予定であったが、メンバーの都合により4月に延期となった。</p> <p>・地域イベントへの出店</p> <p>・回数 目標 4回 → 7回</p>							

<p>事業効果</p>	<p>フリーペーパー発行も4年目を迎え、発行が待ち遠しいという声をいただくことも出てきた。また、実際に自分たちが行った取材やボランティア活動を掲載することで、読者からこんなイベントがあったのは知らなかった、今度は行ってみたいという声も聞かれた。残念ながら、web.でのアンケートは思うに集まらなかったが、直接このようなコメントを頂けることで、フリーペーパー事業や地域イベントへの出店によって、高校生からみた芦屋の魅力が伝わるだけでなく、高校生世代の活躍が！市民の方に届くようになってきている。</p> <p>今年度は過去最高の26校、39名というメンバーで年度末を迎えた。フリーペーパーを中心とする芦屋の魅力発信活動によって、高校生の自主的な市民活動が促進されるとともに、市内での認知度が上がってきている。今年度から始めた応援会員(賛助会員)制度も2月末時点で、個人会員9名、団体会員9団体であったが、3月に入って応援会員入会の問い合わせが増えている。安定的な自主財源の確保に向けて大きく前進した。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>新高校2年生を中心に、事業所の取材だけでなく、街歩きにも力を入れ、マップづくりなど地域の魅力発信により力を入れるとともに、地域課題に触れる機会を増やしていきたい。団体の認知度が上がったことで、ボランティアやイベント出店の依頼が増えており、日常のまちとの関わりや高校生メンバーの自主的な企画をする余裕がなくなっている。これからも市民の多世代の方との交流はそのままに、市内在住の高校生が集まる団体としてのアイデンティティを大切にしたい活動内容を再考したい。</p> <p>フリーペーパーの発行については、印刷費の高騰もあり、発行回数を増やすことは難しいが、活動が多岐にわたっており、掲載できる内容が増えているのでページ数を増やすことを検討している。また、より読者目線での取材、記事制作に努めていきたい。また、数年後には完全自主財源でのフリーペーパー発行ができるよう、応援会員獲得にむけても力を入れていきたい。</p>

事業実施状況を示す写真



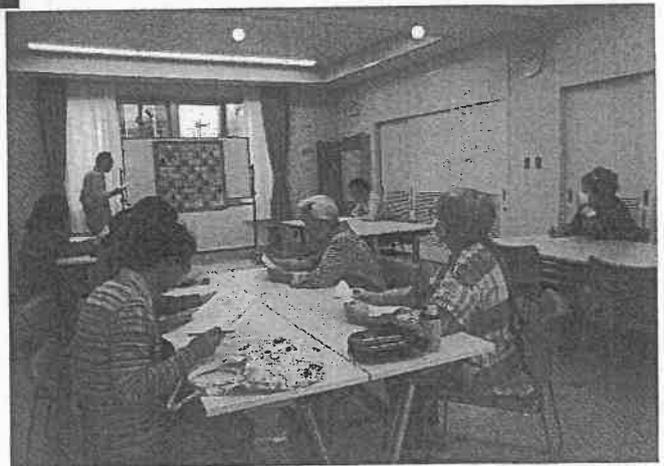
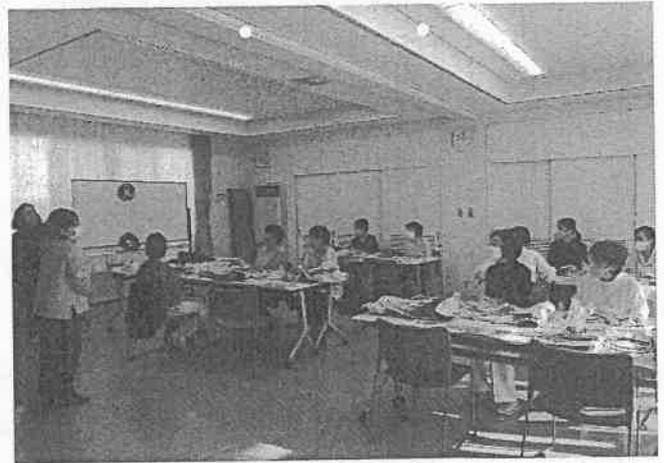


B-26 HAI's 講座／芦屋市朝日ヶ丘地区集会所 運営協議会

活動地域	芦屋市
協働団体	朝日ヶ丘町自治会・東山町自治会・岩園町自治会
事業の 目的・趣旨	老若男女間の交流や憩いの場としての役割を担う集会所で、イベントを開催しより多くの方が集い、地域の活性の場となることを目指します
事業内容	<p>対 象 者：地域住民の方すべて</p> <p>実施方法：集会所を開放し、様々なイベントを企画・運営するとともに、チラシの配布や掲示により広く広報した</p> <p>取組内容：①GENKI★体操…躓き予防・嚥下予防を中心にした筋肉トレーニング ②マグネット フォトシート…マグネットシートに思い出深い写真をデコレーションし、思い出づくり・プレゼントづくりをお楽しみいただいた ③おはなのはなし…植栽を学んだあと、苔玉づくりをお楽しみいただいた ④スマホ講座…芦屋学園・神戸女学院さまの高校生講師を迎え、世代を越えた交流を持った講座を開催した ⑤みんなでネイル…老若男女を対象に、手のマッサージと爪のお洒落をお楽しみいただいた ⑥囲碁ひろば…初心者の方から有段者の方が集い、交流を持ちながら趣味の範囲を広げていただいた ⑦割り箸ランプシェード…割り箸のリユースでお洒落なランプシェードを作り、作る楽しみと使う楽しみをみんなで共有 ⑧絵手紙…絵とメッセージで想いを伝え、交流を深められたようだ ⑨ナンプレ…ゲーム感覚で脳トレをお楽しみいただいた ⑩秋の集い…ギターの弾き語りと花くらぶ制作の花壇と花々を観賞 ⑪Xマスリース…手作りの持つ温もりと地域交流を図る ⑫正月飾り…初めての試みで手作りの持つ温もりと地域交流を図る</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	5	6	8	朝日ヶ丘地区集会所	GENKI★体操	2	10
	5	6	18	朝日ヶ丘地区集会所	マグネットフォトシート講座	2	14
	5	7	13	朝日ヶ丘地区集会所	GENKI★体操	2	8
	5	7	13	朝日ヶ丘地区集会所	植栽講座「おはなのはなし」	2	17
	5	7	28	朝日ヶ丘地区集会所	スマホ講座	11	19
	5	7	30	朝日ヶ丘地区集会所	みんなに優しいネイル講座	2	20
	5	8	1	朝日ヶ丘地区集会所	囲碁ひろば	2	11
	5	8	10	朝日ヶ丘地区集会所	GENKI★体操	2	7
	5	8	24	朝日ヶ丘地区集会所	割り箸で作るランプシェード	3	28
	5	9	14	朝日ヶ丘地区集会所	GENKI★体操	2	7
	5	9	28	朝日ヶ丘地区集会所	絵手紙講座	2	11
	5	10	12	朝日ヶ丘地区集会所	GENKI★体操	2	8
	5	10	20	朝日ヶ丘地区集会所	ナンプレ講座	2	12
	5	10	21	朝日ヶ丘地区集会所	秋の夜長の集い	5	18
	5	10	26	朝日ヶ丘地区集会所	絵手紙講座	2	23
	5	11	9	朝日ヶ丘地区集会所	GENKI★体操	2	9
	5	11	30	朝日ヶ丘地区集会所	Xマスリースワークショップ	2	32
5	12	20	朝日ヶ丘地区集会所	正月飾りワークショップ	2	22	
目標の達成状況	<p>【参加人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規講座は予定した人数より多くのご応募を頂戴し、お断りする講座もあり、次回に繋がる成果がありました ・定例となった講座は、新規加入の方が増え、地域交流がより深くなったように感じます 						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・異世代交流・地域交流の場がより一層増え、引き籠りの軽減、居場所作りとしての役割を担えました ・有事の際の避難所としての役割も兼ね備えていることで、防災・防犯の意識を高めていただける機会が持てました 						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様向け、年配向けと企画していた講座を試しに老若男女の垣根を取り払い、すべての方に特化するよう開催しましたところ、とても旨く運び、参加者の方からも「異世代から刺激をもらえた。」「多くの学びを得られた」とお喜びの声をいただきました。今後の企画もさらに交流を深められる内容に致します ・今回、定員の関係でお断りせざる負えなかった講座を再度、開催し新規の方との交流を深めるように努めます ・ご協力いただける学生ボランティアを増やし、高齢者生活支援センター・社会福祉協議会様のご支援をいただきながら、地域住民のニーズなどを確認し、ご参加いただく方の声を抄い上げ、さらに足を運びたい講座を企画・運営して参ります 						

事業実施状況を示す写真

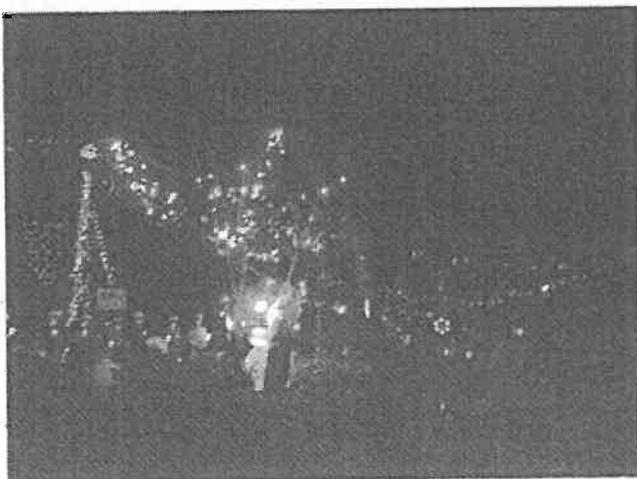
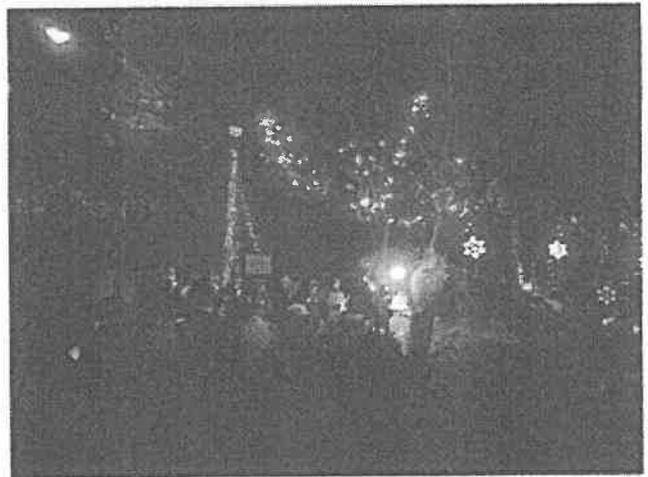
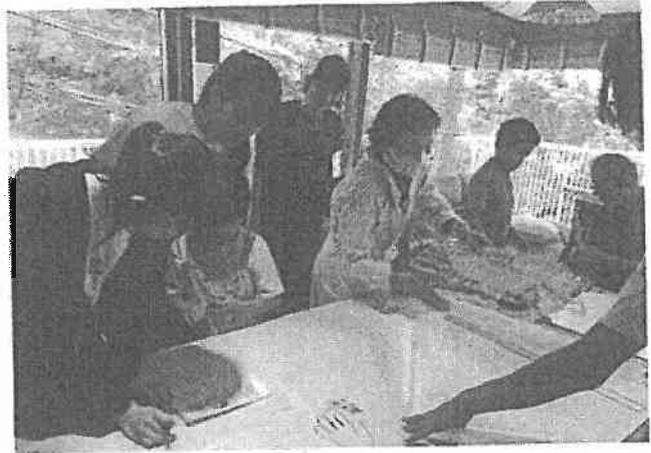


B-27 子供たちの心のふるさとづくり／東山公園を美しくする会

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>子供や近隣住民のつくりや子供たちアイデアで花灯路つくりをしたり、現地で飾りなどを一緒に行ったり、冬にはコーラス隊と共に歌を歌ったりすることによって、子供たちの心のふるさとつくりになればと考えています。</p>
事業内容	<p>子供たちや近隣住民を対象に、公園の一部を夏のイルミネーション&花灯路で飾り、夏は7月22日からお盆の終わる週末まで、毎晩点灯しました。</p> <p>冬はクリスマスイルミネーションで飾り、阪神淡路大震災を思っ、1月17日過ぎまで毎晩点灯しています。(12/16~1/19)</p> <p>数年前からは、芦屋市在住の高校生で構成する、あしや部のメンバーの協力を得て、子供たちも楽しい製作作業や設置、飾り付けに協力してくれて、楽しく準備が出来ました。</p> <p>夏には、屋台やゲーム、和太鼓集団の演奏や老人会の踊りなどを行い、子供たちも太鼓を高く機会が有ったり、参加者も一緒になって踊る楽しい場面もありました。</p> <p>暗くなると、夏イルミネーションや花灯路の点灯式があり、一斉に電飾が灯ると、参加者の皆さんからも歓声が上がりました。</p> <p>その後、見晴らし広場から芦屋浜の花火が小さいながらも見えるので、参加者は、見晴らし広場に上がり、花火を鑑賞しました。道路からも鑑賞できるので、道に人があふれ、交通整理にスタッフ全員が汗をかきました。</p> <p>参加者からは、和太鼓も良かったし子供たちも太鼓を敲けたので良い経験になった、踊りも参加者が一緒になって踊っている様子も素晴らしかったとの感想を聞くことが出来ました。</p> <p>冬は、冬イルミネーションの点灯式やキャロルを行い、子供たちも、コーラス隊や婦人会のメンバーと一緒に歌ったりして、厳かの中で楽しい時間を過ごしました。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	5	7	15	松下宅	花灯路政策	5	15
	5	7	21	見晴らし広場	夏イルミ設置 夏祭り準備	10	10
	5	7	22	夏祭り会場	祭り当日	10	200
	5	8	19	夏イルミ撤収	近隣者やスタッフ、子供達と撤収	10	10
	5	12		点灯式 キャロル会場	冬イルミ準備		
	5	12	16	点灯式・キャロル会場	点灯式&キャロル当日	10	70
	6	1	19	点灯式・キャロル会場	点灯最終日以降近隣者やスタッフ子供達と撤収	10	
目標の達成状況	<p>花灯路の製作に高校生や子供たちが協力してくれました。デザインや彩色を子供たちに任せたためか、みんな真剣に汗をかきながら製作を楽しんでくれました。夏イルミネーションの設置準備にもスタッフ以上に、情熱をもって作業を行い、大変有意義なものになったと思います。</p> <p>夏祭り当日も、子供たちがゲームの当番を決めて、積極的にゲームコーナーを仕切り、みんなが喜んでゲームをしてくれました。</p> <p>夏イルミネーションや花火鑑賞も、参加者が暗い中、お互いが仲良く場所取りをして、楽しいで、町民の心の触れ合いを見た気がします。</p> <p>冬のイルミネーション&キャロルも寒い時期ですが、年々参加者が増え、みんなで楽しく歌を歌ったりして、素晴らしい思い出づくりが出来たと思います。</p> <p>夏)目標 200人 実績 200人 冬)目標 80人 実績 70人 } 親子や高齢者が参加</p>						
事業効果	<p>10数年前には東山公園は薄暗く鬱蒼とした森で、近づきがたい公園でしたので、何とか近隣の方や、子供たちに身近な公園として利用できるように整備を行ってきました。</p> <p>明るくなった東山公園を、里山のような公園ですが、散策や虫取りなど、もっと楽しく利用してもらうために、様々なイベントを通して、近隣の方々との親交や子供たちの心のふるさとづくりを目的に始めたイベントですので、年々参加者も増え、子供たちも去年はこんなことしたとかこんなものを作りたいとかの意見が出て、初期の目的に、毎年近づいていると感じています。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>今後は、企画の段階から、近隣の方や子供たちと催しの内容や配置など話し合ってみることで催しを盛り上げていきたいと思っています。</p> <p>芦屋市内で、業者やスポンサーが入らずに公園の関係者だけで、夏のイルミネーションや花灯路を設置したり、冬のイルミネーションを行っている公園も珍しいと思いますので、今後も、市内で有名な催しとなるように励んでいきたいと思っています。</p>						

事業実施状況を示す写真



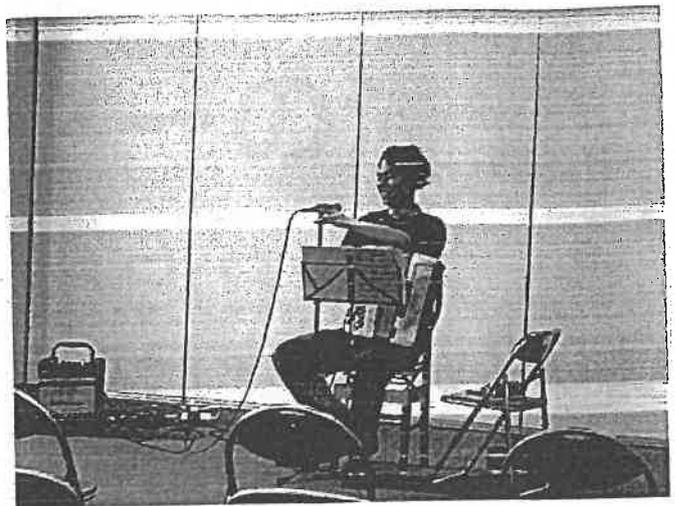
C-1 園田出身の音楽パフォーマーの演奏会

／特定非営利活動法人ええうた工房

活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)						
協働団体	なし						
事業の目的	東園田町総合会館の周知はもちろん、地域出身者で音楽活動を行っているパフォーマーを知ってもらい、地域の活性化と地域の人々の交流を図ります。						
事業内容	<p>ボタンアコーディオンやアコーディナ（鍵盤ハーモニカのボタンアコーディオン版）という楽器を使っの演奏会。現在は東京を拠点にしていますが園和小学校出身の桐山ショウゴ氏をお招きしての演奏会を開催しました。</p> <p>ボタンアコーディオンやアコーディナと珍しい楽器ですが、曲は聞き覚えのあるものやオリジナル曲の演奏をして頂きました。園田出身のパフォーマーということから親近感を持って参加して頂け、「どこに住んでいたの?」とか「ボタンアコーディオンのボタンの仕組みは?」などの質問タイムも活発な時間でした。ユーチューブも見たよとか、ファンも増えたようです。</p> <p>宣伝がかなり遅くなり、集客が心配でしたが、思ったよりは参加者がありました。</p> <p>参加者数：45人 参加者年代：小学生とその親世代、60代～70代) 参加者居住地域：園田、塚口、武庫之荘等 演奏曲：全10曲（indifference、ムーンリバー等）</p>						
実施経過	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
	R5	6	25	東園田総合会館3階ホール	園田出身のパフォーマー演奏会	スタッフ 2	参加者 45
目標の達成状況	<p>100名の満席を目指してはいましたが、半分程度の集客で数値的には達成状況は低いと言わざるを得ませんでした。</p> <p>開館を知ってもらうということでは、初めて足を踏み入れる方も多く、効果はあったと思います。</p> <p>地元出身のパフォーマーがいるということは少なからず知ることができたと思われます。</p>						

<p>事業効果</p>	<p>年配の方には地域出身者を知って頂くとともに町会の活動へ誘うことにもつながればとの開催でしたが、思った以上に効果があり、「老人会でも演奏してほしい」などのお声も頂きました。 若い方や子供たちにも興味を持って頂きたいと思っていましたが、ボタンアコーディオンの音の多さは低学年の子どもには難しかったかもしれません。 全年代に受ける内容は同時に行うことは難しいのかなと感じました。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>今後はこの東園田総合会館を利用した音楽、特に歌関連を開催していきたいと思えます。うたごえ広場的な簡単なことを基本にしながら、レベルの高い専門家の力も借りながら年間に数回のイベントを行って行きたいを考えています。</p>

事業実施状況を示す写真



C-2 音楽を通じて地域の交流活性化を図る / ミュージック・アップ・ナイト

活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町: 西宮 芦屋)
協働団体	
事業の目的	音楽を通じての地域住民の交流からの街づくり 音楽を通して、世代間の交流を図る(50代60代70代) (10代20代30代) イベントの企画(依頼給)で、住民へのふれあいづくり
事業内容	2023年6月11日(日)高須JAZZオーケストラ トロンボーン紹介 JAZZスタンダード曲 ポップス 歌謡曲 2023年7月9日(日)ドラム・ドラム・ドラム トラム紹介 JAZZコンボ"とドラマー3人による演奏とドラム合戦 2023年8月13日(日)ブルーレイ・ハワイアンバンド スキルギター紹介 ハワイのうたと演奏 2023年9月10日(日)さんど"まめマリンバ演奏 マリンバ紹介 1部オリジナル 2部JAZZ特集 2023年10月8日(日)HIVO & たんぽぽ フィーチャー紹介 昭和歌謡曲 2023年11月12日(日)シマダ JAZZコンボ" & ヴォーカル 英語詩の解説 女性ヴォーカルによるJAZZの唄 2024年1月14日(日)南西ポップスJAZZオーケストラ トランペット紹介 Big Band演奏とJAZZヴォーカル(FM) 2024年2月11日(日)社交ダンス 生バンド(3人組)による社交ダンス 毎月おとろけ日(15:00~16:00)の向大庄元氣むら(コ-ポ跡地)から音楽を発信し、 イベント演奏をするだけでなく楽器について掘り下げを紹介し楽器に対する理解 を深め演奏者と観客との交流を深めよう努力をした。

開催にあたり、向大庄元氣むらに協力(周知)をいただき、幅広い世代の参加につなげた。(参加者10代~70代)

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	23	6	11	元気むら	Big Band JAZZ	6	23
	"	7	9	"	"	9	21
	"	8	13	"	"	5	9
	"	9	10	"	"	6	18
	"	10	8	"	"	6	19
	"	11	12	"	"	5	17
	24	1	14	"	"	6	15
"	2	11	"	"	7	32	
						50	154

目標の達成状況

1. 2023年6月から月1回の予定でJAZZ&ポップスのパフォーマンス達成 (12月は尼西高の文化祭)

2. 住民の参加者が昨年度226名から154名になりました。

事業効果

1. 2年目になるイベント開催で「毎月楽しみにしています」と地域の人が声をかけてもらいスタッフも喜びます。

2. 毎回各楽器の紹介を通じて地域の人との交流にぬくもりが感じられます。

3. 初年度はスタッフ数を増やして1人が2年目までのやりみがある。2月のセット

補助金交付終了後の事業展開、今後の展望

(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)

1. 外口人居住者との交流予定は11月、12月、1月のととで予定しています。

2. 参加者の似顔絵フォルダセット引取りが完了しています。

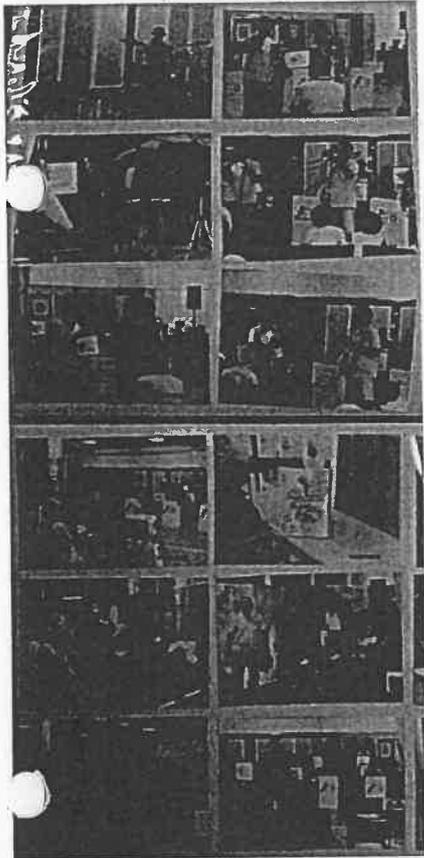
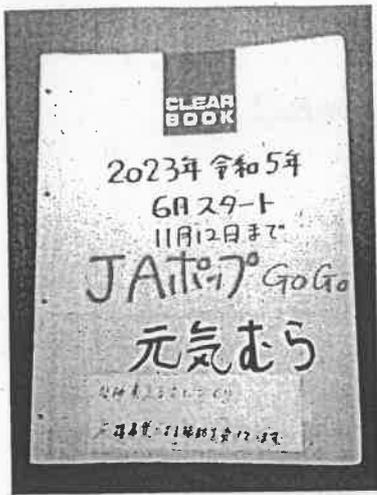
3. 障害者の人が演奏をして交流はできたが施設とのつながりを求められています。

4. 参加者(お客さん)に対してリクエストのとり方を工夫します。

EXM. 全員対象ではなく、一部の人がもつてほしい歌の希望。

今年度の展開を次年度も引き継ぎ継続してまいります。

事業実施状況を示す写真



ドラムドラムドラム JAポップ GOGO 元気

2023年7月5日(日) 13:00開演

演奏会場 大宮市民会館 大ホール

共催 SHIMA JAZZ GROUP

場所 大宮市民会館 08-6418-3100

料金 山下2000

2023年7月5日(日) 13:00開演

2023年7月5日(日) 13:00開演

曲名	演奏者	曲名	演奏者
1. The Girl from Ipanema	11		
2. Jazz for Lovers	12		
3. 恋の季節	13		
4. 恋の季節	14		
5. 恋の季節	15		
6. 恋の季節	16		
7. 恋の季節	17		
8. 恋の季節	18		
9. 恋の季節	19		
10. 恋の季節	20		

ドラム合戦



C-3 地域をつなぐ子育て応援隊事業

／特定非営利活動法人やんちゃんこ

活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域							
事業の目的	子育てに様々な悩みや不安を抱えている保護者に対して、市内で様々な分野で子育て支援に関わっている団体が集まる場を提供することで、情報発信が一度にできることが大きな意味を持つと感じている。活動エリアを子ども対象に確保することで、お互いが安心して活動でき、その中で楽しみや知りたい情報の共有ができたり、悩みも相談できるきっかけになることを目的とする。							
事業内容	<p>令和5年10月1日に開催の尼崎市民まつりに、子どもたち(幼児から中学生対象)が安心して活動できるエリアを作り、ゲームで遊んだり、身体を使った体験活動ができるひろばを展開した。</p> <p>また地域の子育て支援団体が会議を通して集うことで、様々な情報や人々の繋がりが広がり顔が見える関係が構築され、いろいろなアイデアを出し合って、今までにない新しい内容を展開することができた。</p> <p>《ブース》 ボーイスカウト・ガールスカウト・NPO 法人やんちゃんこ・つどいの広場によるゲームや体験遊び、とちのき村木工工作、ストラックアウトコーナー、子どもの居場所展示 等</p> <p>《グラウンド》 白バイ展示、自転車シュミレーター、トラック展示、子ども AED 体験、尼崎城ふわふわ、ミニSL 等</p> <p>《トラックステージ》 尼崎市少年音楽隊(合唱・バトン・吹奏楽・ドラム)、○×ゲーム大会、尼崎レンジャーヒーローショー、はらぺこあおむし人形劇、等</p>							
実施経過	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数		
							スタッフ	参加者
	5	6	20	やんちゃんこ	参加団体での会議	2	10	
			7	やんちゃんこ	参加団体での会議 ・企画決定	2	10	
			8	やんちゃんこ	参加団体での会議 ・チラシ検討・作成	2	10	
			8	やんちゃんこ	参加団体での会議 ・各担当決定・準備物確認	2	10	
			9	やんちゃんこ	参加団体での会議 ・チラシ配布・掲示物作成	2	10	
			9	やんちゃんこ	参加団体での会議 ・会場視察・準備確認	4	12	
			10	橘球場内	こどもひろば開催	50	4000	
			10	やんちゃんこ	参加団体での会議 ・ふり返りと反省会	2	10	
		11	やんちゃんこ	参加団体での会議 ・全体の報告・予告	2	10		

<p>目標の達成状況</p>	<p>尼崎市民まっりの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和5年10月1日(日) 10:00~17:00 ・会場 尼崎市役所横 橘球場内 ・参加者 4000人
<p>事業効果</p>	<p>参加する各団体は、ほとんどが市内の各地域で活動している実績があるため、計画時からイメージは共有できていた。その上で、コロナ禍での開催から少しずつ元近づいた内容にしていきたいと盛んに意見交換が行われた。</p> <p>参加団体の中には子育て支援を中心に活動している所が多かったため、子育てに関する情報などを広げる声かけを積極的にすることができた。</p> <p>団体同士が繋がることで、地域の情報や現状を共有することができた。その中からなお一層、地域活動へと発展させていけるような内容を実施することもできた。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>各団体の横の繋がりがしっかりできたため、今後の地域活動においても共催したり、情報の交換や支援ができるものとする。</p> <p>そして、今後も「子ども」を中心にした目線で、新しい人や団体との出会いもできていければ、事業内容が同じことの繰り返しではなく、ニーズに沿ったものや子育ての現状に合わせたものへと変化させていくことができると思う。</p> <p>また、参加者が次は運営に関わっていくというサイクルを上手く構築できれば、市民全体が参加する事業へと発展させていけるに違いないと思う。</p>

事業実施状況を示す写真



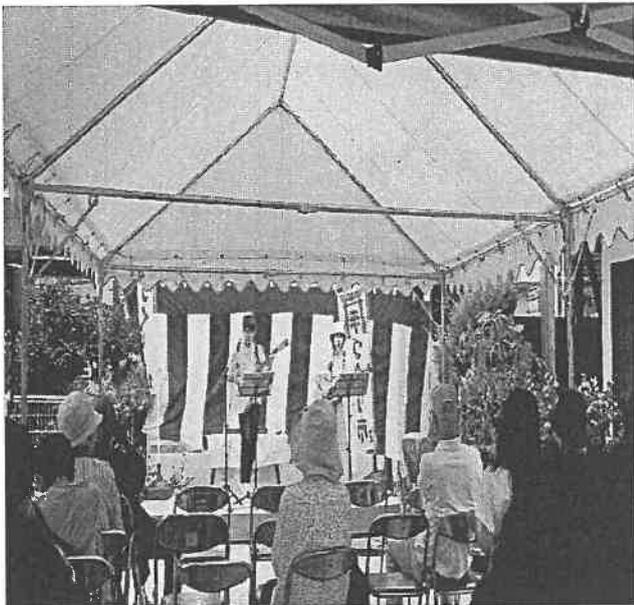
C-4 尼崎えびす神社手づくり市／尼崎えびす神社手作り市実行委員会

活動地域	<p>1 (尼崎) 市</p> <p>2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)</p>
協働団体	
事業の目的	<p>尼崎えびす神社周辺のお店や市民が作成した手作り物の販売において、人の手で作成した物の個性や温かみや、歌やパフォーマンスを通して人と人との交流を促す。</p>
事業内容	<p>A. 市内外の老若男女を対象とした手作り物の販売</p> <p>1. 雑貨 2. 飲食品 3. ビアガーデン</p> <p>当日の出店舗数は、合計47店舗 毎年のリピーターが7割、新規が3割で、満席となった。地域の人が、地域の物を基本に販売してもらう。</p> <p>B. 舞台でのパフォーマンス</p> <p>市民、のど自慢大会。音源持参で皆で楽しむ舞台</p> <p>オープニングは、竹谷小学校の和太鼓演奏に続き、キッズダンスで賑やかにスタートを切った。子供たちの家族や学校関係者で賑わった。</p> <p>C. 地元小学生による書道展示、時代のトレンドに沿ったテーマで、川柳を書いてもらった。当日、来場者にも書いてもらえるスペースを設け、参加してもらった。</p> <p>書道教室から30作品、当日参加者が20作品ほど。来場者に良い作品と思われるものにシールを貼ってもらい、受賞者を決める。</p> <p>地域性のある川柳で退場者も楽しめるイベントとして、毎年、市長も来場してくださることになった。</p>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	2023	5	20	尼崎えびす神社	実行委員会 (イベント詳細決定)	12	
		6	8	尼崎えびす神社	チラシ・ポスターデザイン 構想開始・ポスター500 ・チラシ150	8	
		6	25	尼崎えびす神社	実行委員会 (店舗募集要項作成)		
		7	16	尼崎えびす神社	実行委員会 (パフォーマンス・MC のど自慢大会 募集)	12	
		7	24	尼崎えびす神社	実行委員会 (協賛・後援・占有許可書等各 必要手続き開始 出店者・小学生作品募集開始)	12	
		8	21	尼崎えびす神社	実行委員会 (出店者、出店料 確認 保険加入)	12	
		9	16	中央公園	看板・幟・ポスター設置	4	
		9	23	神田公園	テント・舞台・区画整理	12	
		9	24	尼崎えびす神社 神田公園	尼崎えびす神社 手づくり市	12	約 3000
目標の 達成状況	年々、認知度が高まり、また尼崎市観光局が、同日開催のイベントを「AMAZON フェス」としてPRしてくれることから、3,000人以上の来場者数が保たれている。						

事業効果	<p>毎年、リピーターの出店者と市民の繋がりも定着しつつあり、新しい知り合いづくりの場、多様性コミュニティ構築の場、となっていると実感できた。また地元商店街が、参道の機能を果たすという観点からも、周辺の経済の活性化にも、繋がっていると思う。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>出店者の方々と、普段から SNS やイベントを通して、繋がることを心がけ、地域の学校現場(小学校やPTA, 学習教室など)とのコミュニケーションをできるだけ取り、イベントを通して、地域全体でのこども教育、また年々、増加する外国人コミュニティにも参加してもらえようようなアクセスの構築を検討していく。</p>

事業実施状況を示す写真



**C-5 地域密着イベントである「寺町まち灯りイベント かるた事業」
／尼崎商工会議所 青年部 地域密着委員会**

活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	尼崎市、(一社)あまがさき観光局、尼崎・伊丹市内郵便局、尼崎信用金庫、阪神 尼崎駅周辺まちづくり共同企業体
事業の目的	尼崎を題材にした「尼崎愛A Iカルタ」を作成し、「尼崎寺町まち灯り2023」 の参加者、青年部メンバーや行政の方へお披露目を行い、事業へ参加された方々 に対して尼崎の魅力を提供できるような実施を目的としました。 事業終了後は市内の生涯学習プラザへの寄贈を通じて、学習プラザを利用され る方がカルタでの遊びを通じて尼崎の魅力を再発見や尼崎の歴史や文化を知る教 材の1つとして利用いただくことを目的といたします。
事業内容	「尼崎愛A Iカルタ」の作成に関しては7月11日に本所青年部イベント実施 いたしました、「尼崎商工会議所青年部 尼崎愛A Iカルタ～みんなの知恵をかし ておくれ!～」で本所青年部メンバー・行政の関係者・ChatGPTの活用にて 読み札を作成しました。 また、作成した「尼崎愛A Iカルタ」は2つの事業でお披露目を実施しました。 1つ目の事業は11月25日に寺町で実施した「尼崎寺町まち灯り2023」の 事業である「人間カルタ大会」にて当日は小学1～6年生合計で75名が参加し、 尼崎の魅力を再発見できるような事業を実施いたしました。 2つ目の事業は2月20日に本所青年部事業である「尼崎商工会議所青年部2 月市長例会 青年部の和と市長との輪でWOW!」にてお披露目を行いました。事業 ではカルタ大会を実施し、青年部メンバーや行政の関係者合わせて70名が参加 いただき、尼崎の魅力を再発見できるような事業を実施いたしました。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	23	5		尼崎商工会議所	かるた事業に向けた検討・準備委員会	12	
		7	11	尼崎商工会議所	かるた事業の実施 (回答方式によるコンクール形式)	12	50
		8		尼崎商工会議所	かるた事業内容の精査	10	
		9		尼崎商工会議所	「尼崎寺町まち灯り2023」に向けた準備	12	
		11	25	寺町	まち灯りイベント実施 人間カルタ大会	12	3,000 75
	24	2	5	尼崎商工会議所	かるた事業、「尼崎寺町まち灯り2023」実施後の振り返り	5	20
		2	20	尼崎商工会議所	カルタお披露目イベント(カルタ大会)の実施	12	70

<p>目標の達成状況</p>	<p>かるた事業 当初目標：50人 ⇒当日の参加者数：50人 まち灯り事業 当初目標：3,000人 ⇒当日の参加者数：3,000人 人間カルタ大会 当初目標：50人 ⇒当日の参加者数：75人 カルタお披露目会 当初目標：50人 ⇒当日の参加者数：70人</p>
<p>事業効果</p>	<p>本補助金を活用して作成した「尼崎愛AIカルタ」を用いて、「尼崎寺町まち灯り2023」のイベント内で実施した「人間カルタ大会」では尼崎市の方だけでなく、市外の方たちを合わせた3,000人ほどが寺町へ足を運んでいただくことで、尼崎の魅力を再発見できたほか、事業当日は周辺の店舗への経済効果にも繋がることができました。</p> <p>また、イベント終了後は事業に参加したことで理解できた尼崎の魅力を他者と共有することやカルタの読み札と関連している場所へ訪れること、「尼崎愛AIカルタ」の利用等、今後も尼崎市内へ人を呼び込むことができると考えます。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>作成した「尼崎愛AIカルタ」は今後、尼崎市内の12カ所の生涯学習プラザに寄贈いたします。そこで、当施設を訪れた方にカルタを利用してもらいながら、尼崎の魅力を感じさせるツールの1つとして利用いただきます。</p> <p>また、カルタを活用して尼崎の歴史・文化が知れる教材の1つとなるようなツールになればと考えております。</p>

事業実施状況を示す写真

- ・7月に実施したカルタの読み札を考えるコンクールの様子



- ・「尼崎寺町まち灯り2023」で実施した「人間カルタ大会」の様子



- ・2月に実施した「尼崎愛AIカルタ」を用いたカルタ大会の様子

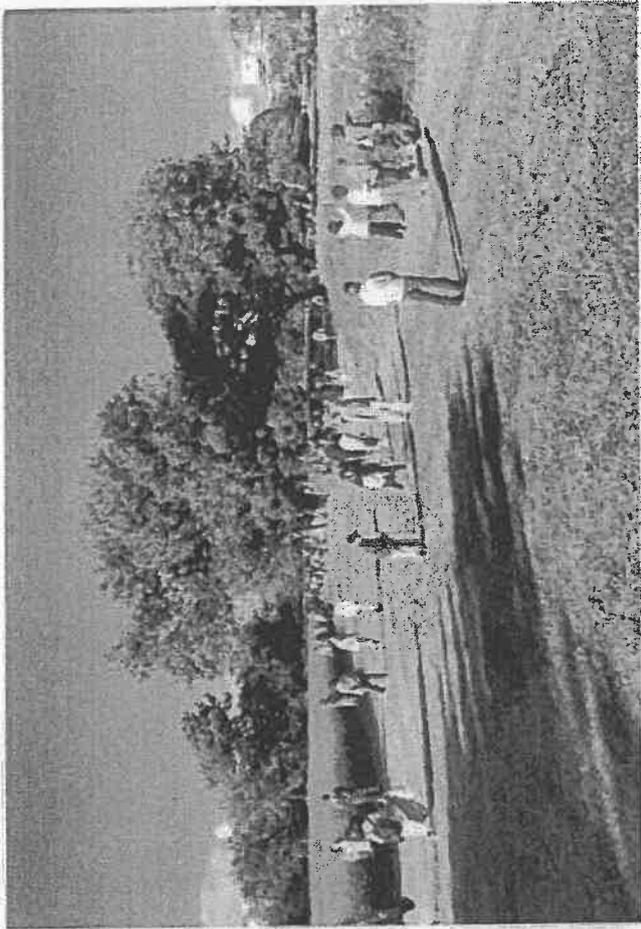


C-6 武庫川髭の渡しコスモス園／髭の渡し花咲き会

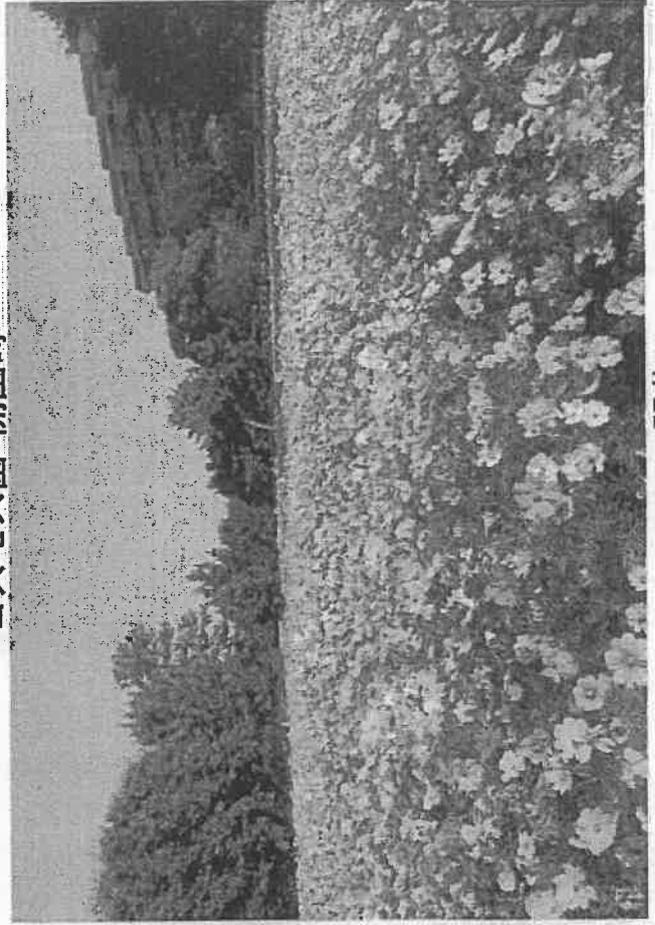
活動地域	1 () 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	
事業の目的	<p>コスモスの花づくりを通じて、武庫川河川敷の環境改善に寄与することにより、地域住民の地域への愛着心を深めていくことを目的とする。また、尼崎市民ほか兵庫県民に憩いの場を提供する。</p> <p>今年度は、種まきや花見会といった活動に子どもや子育て世代といった若い世代に参加してもらい、持続的な活動につなげていく。合わせて、コロナ禍で控えていた広報を積極的に行うことで、来園者の増加を図る。</p>
事業内容	<p>1. 地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種まきイベント 8/26 (土) 夏休み前に小学校にイベントのチラシを配布した他、地域住民や近隣の企業等にもイベント及び寄付の呼びかけを実施。 当日の参加者はスタッフ合わせて270名で、昨年度参加者の120人より大幅に増加。子供の参加者は32名。 ・花見会(清掃) 10/20 (金) コスモス園開園前に清掃と合わせて、花見会を実施。地域住民や近隣の企業等にチラシを配布。当日の参加者は65名。 <p>2. コスモス園の運営、広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開園期間(駐車場開設期間) 10月21日(土)から11月19日(日)まで 計30日間 ・駐車台数 8,041台 ・来園者数 38,356人(概算) ・フォトコンテストの実施(10/21~11/19) あまがさき観光局と共催。約900件の作品の応募があり、その中から最優秀賞1点、優秀賞2点、部門賞5点、入賞4点、特別賞1点の計13点を選出。 ・20回目の開催を記念して、園内中央の区画に「20」の花文字を作成。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	R5	6	30	武庫西生涯学習プラザ	運営会議	12	
		8	26	武庫川河川敷	種まきイベント	20	250
		9		武庫西生涯学習プラザ	運営会議	17	
		10	20	武庫川河川敷	花見会(清掃)	10	55
		10	21	武庫川河川敷	コスモス園開園		38,000
		~11	19				
	2	29	武庫西生涯学習プラザ	運営会議	10		
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・種まきイベント 参加者 270 人 (目標 200 人) ・コスモス園 来園者数 38,000 人 (目標 50,000 人) 						
事業効果	<p>種まき等のイベントについて広く声をかけたことで、昨年比べて多くの方に参加してもらうことができた。特に種まきについては、多くの子どもやその親の参加があり、地域活動として定着させるという狙いは達成できた。</p> <p>また、広報については、プレスリリースを実施したことにより、神戸新聞、他 2 紙に掲載していただき、多くの方に PR できた。</p> <p>しかし、来園者数は目標値を超えることができなかった。猛暑による開花時期の遅れによる開園期間の短縮に加え、園内に雑草が増えてきており、コスモスの生育が良くなかったこと等が原因と考えられる。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を初め、いろいろなチャンネルでこの活動を周知するとともに協力を仰ぎ、より多くの方を巻き込んでいく。 ・雑草対策として、新たな栽培管理方法を模索する。 ・資金面に余裕がないため、資金確保及び経費削減に向けての検討を引き続き行う。 ・近隣市町との協力の可能性を探り、より効果的な PR につなげる。 						

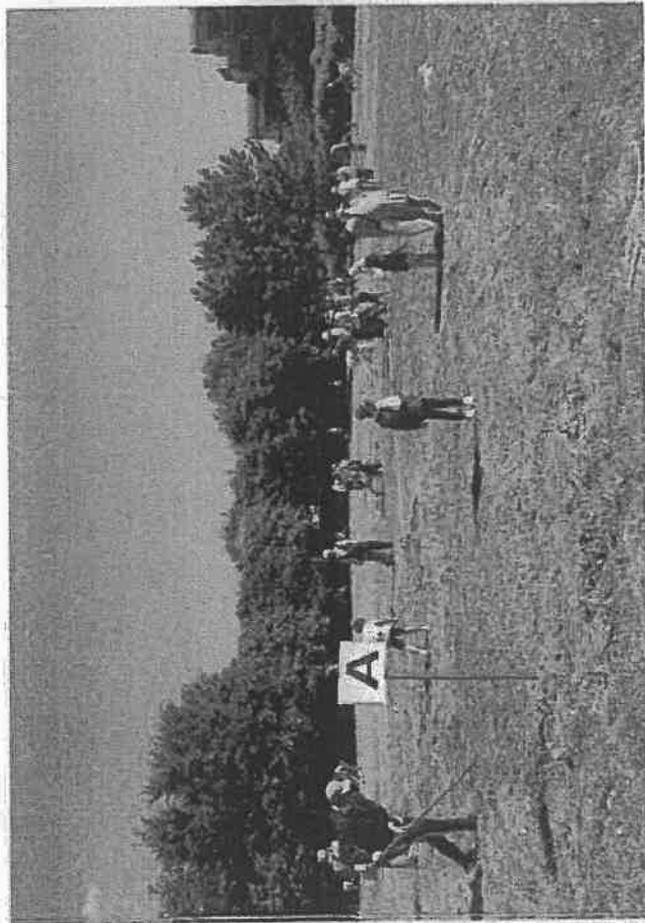
事業実施状況を示す写真



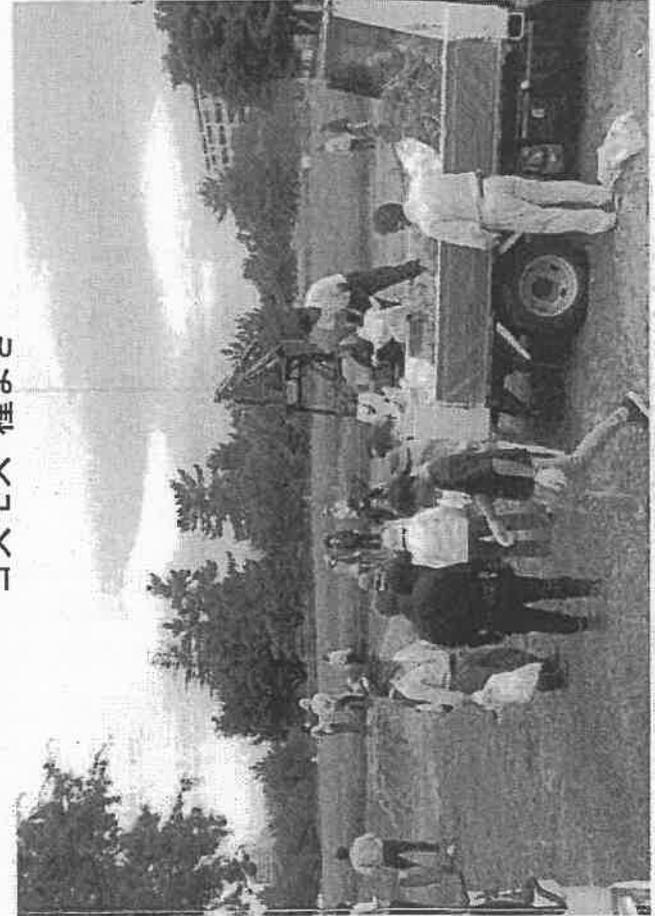
コスモス園 開園時



コスモス 開花



コスモス 種まき



清掃活動

C-7 塚口秋祭り「縁日」／塚口倶楽部

活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	
事業の目的	塚口秋祭り「縁日」は、町内を6基の地車が巡回する塚口神社の秋祭りにおいて、町内の商店街の協力も得て、子どもや高齢者といった社会的弱者が安心して滞在できる場をつくり、市民の生活を支える商店街として「市民が集う場」を作り出すことを目的とする。
事業内容	飲食屋台や縁日ブースを開き、お年寄りや親子が楽しめるイベントを開催した。 イベント内容は、 ① お子さま向けのゲームブース ・すくいもの…おもちゃの金魚すくい ・ガチャガチャ…2台を用意。1台はおもちゃの景品が当たるもの。もう1台は飲食ブースの商品や袋菓子が出るものとした。 ② 綿菓子・焼きそば・フランクフルト・タコセンなどの食ブース ③ ビールやラムネなどの飲料ブース

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	R5	8	17	クローバー	企画・検討	10	300
	R5	9			広報		
	R5	10	15	町内特設会場	イベント開催	15	
	R5	11	16	クローバー	事業検証	10	
目標の 達成状況	のべ300人						
	内容					件数・金額	
	ゲーム (100円)					270件 (うち無料チケット112件)	
	ガチャガチャ (100円)					318件	
	綿菓子 (150円)					154件	
	食べ物 (焼きそば300円フランクフルト200円) たこせん (50円150円)					125,500円	
	飲み物 (ビール300円酎ハイ250円ラムネ150円ジュース100円)					63,040円	
事業効果	<p>秋祭りを楽しむ地域住民が、「縁日」という場集まることで、まちなかコミュニケーションが生まれ、弱体化している地域コミュニティの強化に繋がる。</p> <p>「縁日」というイベントを運営する中で、塚口倶楽部を構成する町会、青年団、地元商店主間の情報交換の機会が生まれることも塚口という街の活性化に繋がる。</p>						

補助金交付
終了後の
事業展開、
今後の展望

(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)
事業検証の際、自転車での来場が多く、その置き場所や整理ができていなかったということがあった。地車も通ることから、安全面の上でも場所の確保と整理、来場者への周知も徹底することとした。
ストレスなく回すために、スタッフをあと2~3人増やす必要があることを確認した。
その他の内容は、ほぼ同様に今後も展開していく。

事業実施状況を示す写真



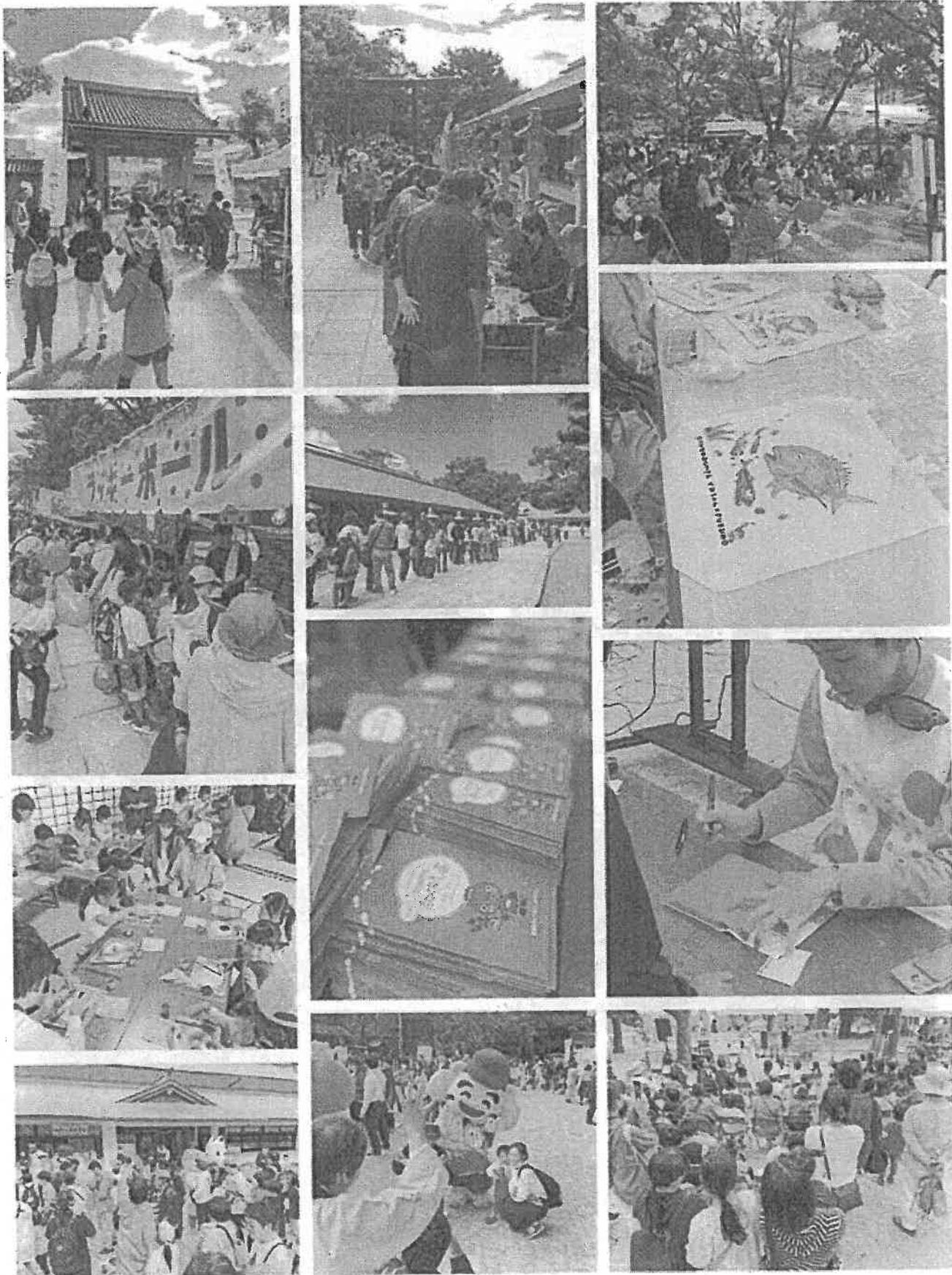
C-8 もっとみやしる 2023 / 西宮商工会議所 青年部

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	西宮に縁のあるお店や企業と協力して、西宮神社を会場とし、市内の小学生に「街を知り・楽しみ・好きになってもらう」事を目的としたイベント。
事業内容	<p>小学生を対象としたスタンプラリー（西宮の事を知ってもらうクイズ形式）、理想の西宮を子供たちが描く絵馬企画を実施しました。</p> <p>市内で活躍する複数のキッチンカーによる飲食物提供、青年部メンバーの飲食店出店等、西宮縁の一日となりました。</p> <p>スタンプラリーを集めた子供達には、西宮に縁のある素敵な景品等が当たるガラガラ抽選会も開催。西宮市観光キャラクター「みやたん」市内商店街ゆるキャラ「コウちゃん」「ふくみ福ちゃん」の出演や学生ボランティアも参加。</p> <p>市内企業にご協力いただきワークショップも開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古野電気による海の大切さを学ぶおさかなのお兄さんのトークショー ・子供たちが作るエコバッグ ・あおやま菓匠による上生菓子の体験（みやたんの練り切りを作る体験） ・境内には出店等も立ち並んでいました（神社さんが呼ばれたもの） ・湯浅紙店によるトイレットペーパーの早巻き対決実施 <p>【当日参加者報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプラリー 子供 1300 人 保護者 2600 人 ・絵馬：282 人参加 ・古野電気：午前午後で 500 人程度 用意した塗り絵 500 枚がなくなる ・和菓子：子供 220 人 保護者約 300 人 ・湯浅紙店：子供 320 人 ・キッチンカー 4 台中、2 台は完売 <p>グリルー平は追加したがそれでも完売したとのこと</p> <p>①イムハウスカフェ、②ラズッカダイナポリ、 ③淡路島バーガー、④グリルー平</p> <p>その他 2 台のキッチンカーについても十分過ぎるほど売れたとのこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店 3 店舗 どこも想定していたよりも売れたとのこと ①だしの店つみき、②BUNDY BEANS、③布引礦泉所

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	23	4	1	商工会議所	会議・企画立案	10	
	23	5	15	西宮神社	会場計画・打ち合わせ	3	
	23	6	26	商工会議所	会場の図面を元に計画	6	
	23	7	24	商工会議所	印刷物等デザイン開始	1	
	23	8	28	西宮市内	協賛企業に挨拶回り	3	
	23	9	21	商工会議所	青年部による団体審議	20	
	23	10	1	西宮市内	チラシ等を配布・広報活動	15	
	23	10	21	西宮神社	もっとみやしる 2023 開催	60	5000
目標の達成状況	<p>当日は天気にも恵まれ、トラブルなく終えることが完了しました。 子供は2,000人参加目標（申請時）のところ、当日は1,300人の子供がスタンプラリーに参加しました。</p> <p>また、WSは200人参加目標（申請時）のところ、当日は各体験に300～500人ほど集まり、想定を上回る結果となりました。</p> <p>現在、協賛企業に対するお礼等の書類作成や協力企業への報告等実施中。 当日、子供たちが描いた絵馬を後日表彰予定の為、青年部で選定を実施。</p>						
事業効果	<p>昨年より規模や内容をパワーアップさせ、どうなる事かというところでしたが、期待通りの結果を得ることができました。</p> <p>昨年は800人の子供を受け入れ、スタンプラリーの台紙が無くなるなど、全ての子供たちに楽しんでいただけませんでした。今年は在庫を切らす事なく1300人の子供たちに待ち時間等のストレスもかけることなく、全員に楽しんでもらえました。</p> <p>また、昨年は飲食店の売上にもばらつきがあり、不満の声も聞かれましたが今年は今店舗大盛況という事で喜びの声をいただきました。 初の実施となったワークショップですが、こちらも予定人数を大きく上回る応募や当日の申し込みがありました。</p> <p>タレント「さかなのおにいさん かわちゃん」による西宮の海に関するお話や、環境を守る未来の話等が子供たちに届いたのか、子供たちが描いた絵馬にもそれらの内容が描かれていました。</p> <p>和菓子体験も作った和菓子をお土産としてお持ち帰りいただきましたが、SNSに投稿されていたり、ゆるキャラたちとそれらを持って記念撮影をされていたりしました。 郷土愛の育まれる一日になったのではと思います。</p>						

<p>補助金交付 終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>こちらの団体の制度上、来年の会長が継続するのかどうか判断される事となります。ですので、現在は未定となります。</p> <p>参加者はもちろん、青年部員も満足していた為、継続される可能性はありそうです。</p> <p>来年も継続となった場合は財源の確保等を行い、なるべく自己資金で対応できるようにするべきと思います。</p> <p>今年度のイベントが会場の規模感含め、人員や予算等、良い指標になったと思いますので、結果と照らし合わせながら資金については協議が行われると思います。</p> <p>展望については、来年は今年の内容を継続しつつ、小学生たちが市内企業のお仕事体験ができるような企画も同時開催してはどうかとイメージしています。</p> <p>青年部に在籍する部員もですが、市内企業も更に巻き込み、 「市内にはこんな企業があるんだ」 「将来は西宮で〇〇な仕事がしてみたい」等 子供たちに更に具体的に思ってもらえるようなイベントへと 進化させてみてもおもしろいかと 23 年度の委員長は考えます。</p> <p>次年度は別の委員長になりますので、この辺りの具体的な内容は、 24 年度委員長が新たに形作っていく事と思います。</p>
---------------------------------	--

事業実施状況を示す写真



C-9 こどもカフェプロジェクト／一般社団法人 meete 訪問療育協会

活動地域	西宮市						
協働団体							
事業の目的・趣旨	児童期での療育支援のなかで、早期に仕事や職場での対応力を身につける機会をつくるため						
事業内容	<p>meete の訪問療育体験会で使用しているキッチンカー「みーて号」で、コーヒーや焼き菓子の販売を行うとともに、子どもがカフェ店員の擬似体験ができるお仕事体験イベント。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お仕事体験参加の子どもたちが、ドリンクや注文を受けた焼き菓子を提供する。 ・お仕事体験参加の子どもたちを、meete の療育支援認定サポーターがお仕事評価チェックを行う。 ・療育支援認定サポーターがチェックしたお仕事評価シートとお仕事体験認定書が受け取れる。 ・お仕事体験に参加した報酬としてお菓子またはドリンクがもらえる。 						
事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	R5	6			準備		
	R5	9	30	ダイバーシティ 甲陽園(中庭)	みーてキッズカフェ開催	2	4
	R5	10	21	ダイバーシティ 甲陽園(中庭)	みーてキッズカフェ開催	1	3
	R5	11	18	ダイバーシティ 甲陽園(中庭)	みーてキッズカフェ開催	2	11
	R5	12	16	ダイバーシティ 甲陽園(中庭)	みーてキッズカフェ開催	4	14
R6	1			集計			
目標の達成状況	<p>お仕事体験参加者（6歳以上で就労経験のない子ども・若者） <目標>定員 2～3名程度/1h×5時間 10名・地域住人 30名程度/1回当 参加児童（9月）4名（10月）3名（11月）11名（12月）14名 合計 32名 カフェ客（9月）30名（10月）16名（11月）33名（12月）41名 合計 120名</p>						

<p>事業効果</p>	<p>カフェ店員参加児童・カフェ利用者ともに多数集まり、カフェ店員の疑似体験をしながら、子どもたちが楽しく、コミュニケーション力を身につけていった。</p> <p><お仕事体験参加料 (2000 円/こども 1 名・団体割-1000 円/1 名) 売上> (9 月) 4,000 円 (10 月) 3,000 円 (11 月) 11,000 円 (12 月) 14,000 円 合計 32,000 円</p> <p><カフェ売上> (9 月) 11,400 円 (10 月) 6,800 円 (12 月) 11,800 円 (12 月) 11,200 円 合計 41,200 円</p> <p style="text-align: right;">【イベント総売上 : 73,200 円】</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。)</p> <p>今年度は西宮市内在籍の療育施設などへイベントの開催告知 DM やチラシを配布したことで、団体での応募が多く、身近な地域での参加児童獲得に大きな効果があった。また、イベント開催地を駅近くの人通りが多い路面に変更したことで、イベントによる集客数も昨年より多く獲得できたことが効果的だった。</p> <p>今後の事業展開としては、療育施設をターゲットとして、施設、または施設から近い身近な地域(駅周辺)へ出向いて出張イベントを企画し、カフェ販売での仕入れ菓子においても市内の福祉事業所とも連携しながら事業展開していく予定。</p>

事業実施状況を示す写真



C-10 第16回 LALALA にしきたミュージシャンコンテスト '2023

／西北活性化協議会

活動地域	西宮市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	音楽による街の活性化、音楽による街の賑わいづくり、音楽の街にしきたのアピール。
事業内容	<p>近畿各地より出場者を募り、地域2会場での公開予選に勝ち抜いたミュージシャンによる決勝大会を芸文センターで開催した。 (81組⇒24組⇒8組に選考)</p> <p>・公開予選 10/1 西宮市大学交流センター大講義室・・・参加者 100名 10/9 阪急西宮ガーデンズ木の葉のステージ・・・参加者 300名</p> <p>・決戦 11/24 兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール・・・参加者 350名</p> <p>■コンテスト出場者演奏 (8組)</p> <p>①Crisby Palette 「雪の光」 ②神戸東町待合楽団 「とんび」 ③あさなり ゆうや 「We're All Alone」 ④マーマレードペンギン 「まだまだ」 ⑤MuKu 「むくの木の下で」 ⑥むらすずめ 「君はロックを聴かない」 ⑦CROCRO 「道」 ⑧まどろみのおと 「私の感受性」</p> <p>■ゲスト演奏 DRASTIC BREED (第15回グランプリ)</p> <p>■審査結果発表 [グランプリ] Crisby Palette (県知事賞) [入賞] CROCRO (西北特別賞/JT マーベラス賞) まどろみのおと (審査員特別賞/西宮市長賞)</p> <p>■グランプリアンコールステージ</p> <p>また、決勝大会で受賞した3組によるプレミアム・コンサートを西宮市プレラホールにて開催予定である。(2024年3月24日(日))</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	5	10	1	西宮市大学交流センター大講義室	公開予選	10名	100名
	5	10	9	阪急西宮ガーデンズ木の葉のステージ	公開予選	10名	300名
	5	11	24	兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール	決勝	10名	350名
目標の達成状況	音楽イベントととしては高評価をうけたが、決勝は4連休の中日という事で来場者数が予定の1,000名を下回った。						
事業効果	公開予選2会場、決勝、グランプリ・プレミアムコンサートの4会場で音楽イベントを実施し、来場者にはコンテストであるがコンサートのようにお楽しみいただいたが特に本年はレベルが高く、来場者より高評価を受け、街の活性化と賑わいづく、“音楽の街にしきた”のアピールが出来た。 公開予選（2回目） 参加者 400名 決勝 参加者 350名 参加者合計 750名						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	（次年度以降どのように事業を展開（継続）していくのかご記入ください。） 次年度は第17回目の開催になり、全国的にもハイレベルなコンテストとして定着してきているが、告知、集客に力をいれ、西宮市民及び近隣の住人にアピールし更に満足のいく楽しいイベントにして行きたい。						

事業実施状況を示す写真



C-11 第35回あしや秋まつり／あしや秋まつり協議会

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の目的・趣旨	<p>芦屋市商工会をはじめ市内6団体で構成するあしや秋まつり協議会の主催により開催し、秋の一日、市の内外から多くの人々がまつりに集い、地域のコミュニティづくりに寄与する。市民、自ら運営していく場として秋まつりを実施することにより、「ふるさとのまちあしや」再生を目指すとともに地域の活性化と人々の交流を図る。</p>
事業内容	<p>実施日時 10月8日(日) 11時～16時 実施場所 芦屋市大榭公園 茶屋公園・公光公園 実施内容</p> <p>①</p> <p>① 「オープニングセレモニー・開会式」 大榭公園内 来賓挨拶 あしや秋まつり協議会 永瀬会長 芦屋市 高島市長 芦屋市 帰山市議会議員</p> <p>来賓紹介 青山県会議員 山田衆議院議員 三木衆議院議員</p> <p>② だんじりお披露目 大榭公園周辺道路 あしやまつり連絡協議会による市内6基のだんじり練り回し 芦屋市内約1,000人見物参加(大人8割子供2割)</p> <p>③ こどもみこし 大榭公園周辺道路 芦屋市子ども会連絡協議会によるこどもみこし 芦屋市内約1,000人見物参加(大人8割子供2割)</p> <p>④ 米親会による餅つき体験 大榭公園内 米親会による餅つき 参加者は約300名 ほぼ親子での参加</p> <p>⑤ 商工会縁日 大榭公園 茶屋公園内 市内商店街(浜芦屋商店会 本通り商店街)、芦屋市商工会青年部、 芦屋市商工会女性部、新温泉町商工会による縁日の出店 会場来場者は約3,000人(大人7割子供3割)</p> <p>② アンケート調査の実施</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	5	5	31	芦屋市	あしや秋まつり協議会	2	6
	5	7	24	芦屋市	あしや秋まつり協議会	2	6
	5	9	4	芦屋市	あしや秋まつり協議会	2	6
	5	10	8	大榭公園／茶屋公園及び周辺道路	あしや秋まつり	10	3,000
	5	11	7	芦屋市	あしや秋まつり協議会	2	6
目標の達成状況	<p>(目標)</p> <p>来場者数 1,000 人</p> <p>出店者売上高約 2,000,000 円</p> <p>(実績)</p> <p>来場者数 3,000 人</p> <p>出店者売上高 約 2,500,000 円</p>						
事業効果	<p>地域商工業者による縁日と、だんじり関係者、こどもみこし関係者等、地域と市民が一体となって取組むイベントであり、多くの来場者があった。会場内の縁日だけでなく周辺地域のお店への訪問客も多数あり、地域経済への波及効果は多大であった。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>今回、参加者へ対するアンケート調査を行い、効果及びニーズを確認した。地域密着のイベントとして、だんじりと共に開催継続の意向は強い。兵庫5国の特産品を紹介し、兵庫各地の魅力をお届けすることも目的としているが、今年度但馬地域（新温泉町）のみ参加であったが、次年度からは「播磨」「淡路」「丹波」地域からの出店も依頼する予定である。</p>						

事業実施状況を示す写真

(大樹公園)



(茶屋公園)



(周辺会場 だんじり)



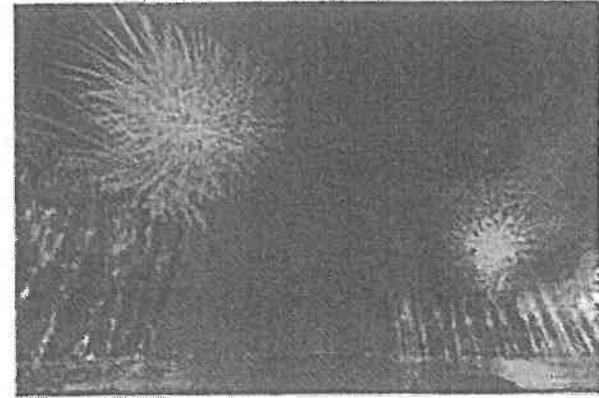
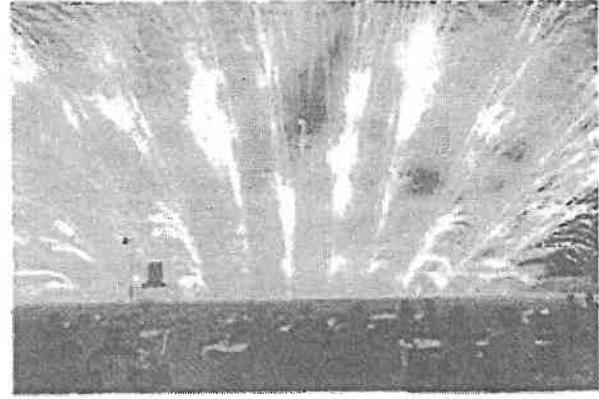
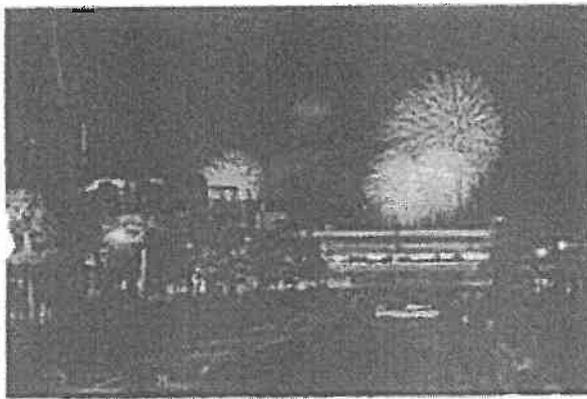
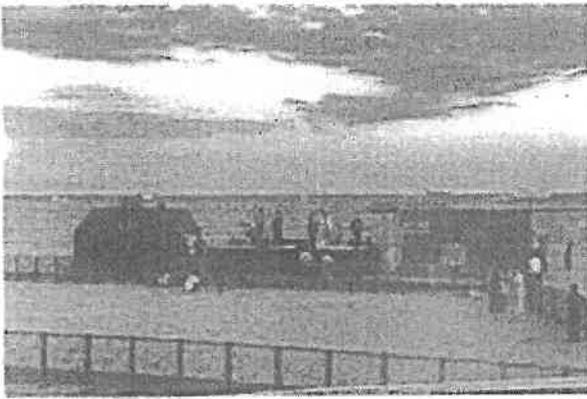
C-12 第45回あしやサマーカーニバル

／特定非営利活動法人芦屋市民まつり協議会

活動地域	芦屋市
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>行政/団体/市民が横断的に交流する機会、気軽に参加できる場所を設けることでつながりが地域を守り、新しいもの生み出し育てていく土壌となる。</p> <p>市民が自らの手で自分たちのまちをつくり、盛り上げていくために、芦屋サマーカーニバルが、多くの市民や市民団体のネットワークづくりの場として機能することが期待されている</p>
事業内容	<p>■開催日 7月22日(土)</p> <p>□開催場所 潮芦屋ビーチ・潮芦屋緑地・芦屋市総合公園</p> <p>□来場者数 20:30時点 31,300人</p> <p>○Ashiya Dancing Fireworks Show(花火ショー) 19:45~20:30 打上発数 6000発(乱玉含む)</p> <p>○市民ステージ 13:00~21:00</p> <p>○芦屋市民広場 13:00~21:00</p> <p>○縁日</p> <p>芦屋市民縁日 13:00~21:00 20店舗(20区画)</p> <p>本部店舗(東) 14:00~20:30 9店舗(9区画)</p> <p>本部店舗(西) 17:00 21:00 9店舗(6区画)</p> <p>計 38店舗(35区画)</p> <p>○キッズサッカー大会 9:00~12:00</p> <p>□クリーンアップ大作戦</p> <p>・実施日 7月23日(日)</p> <p>・実施場所 潮芦屋ビーチ 潮芦屋緑地・芦屋市総合公園周辺街区</p> <p>・参加者数 約100名</p> <p>□開催報告会</p> <p>・開催報告写真展 9月16日(土)~9月24日(日)</p> <p>・場所 ホテル竹園芦屋</p> <p>2022年はコロナの為、協賛者のみ来場可能な有料イベントとして開催したが、2023年は市民広場を設けて、協賛者以外でも来場できる開かれたまつりへと一歩前進することができた。ただ予算面から開催規模を抑制しなければ安全が担保できないため、定員を決めたうえで、事前予約を行った方に限った来場となった。</p> <p>積極的なボランティアの募集に取り組み、新規のボランティア参加者・参加団体があった。引き続き厚く募集活動を行いたい。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	5	7	22	芦屋市総合公園 潮芦屋ビーチ 潮芦屋緑地	第45回芦屋サマーカーニバル 市民ステージ・市民広場 花火ショー・花火観覧席	実行委員 20 公募ボラ 100	31,300
		7	23	同上	クリーンナップ大作戦	40	80
		7 ～8	23 ～ 24	オンライン	写真コンテスト募集期間	10	90
		9	16 ～ 24	ホテル竹園芦屋	写真展「芦屋サマーフォト 2023」	10	300
目標の 達成状況	<p>第45回芦屋サマーカーニバルの来場者数は約4万人を見込んでいたが、警察指導や安全管理の側面から来場者数を絞ったため、31300人となった。</p> <p>クリーンナップ大作戦は参加者100人を予定したが、本年より市によるゴミ回収ではなく民間委託となったため業者スタッフを増員・参加募集を減らし実施した。</p> <p>写真コンテストは約90作品の応募があった。目標の100件には届かなかったが、レベルの高いコンテストとなった。写真展「芦屋サマーフォト2023」はホテルのフロント・通路を借りて実施した。ホテル利用者の観覧もあり、目標300人以上の観覧はあったと報告を受けている</p>						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の手でまつりを作り花火を上げる、芦屋のまちの底力や強さを内外に示し、まちと地域と暮らす人の、魅力発信に貢献した。 ・まちづくりへのボランティア参加を募集し、地域に目を向ける機会を提供した ・市や関係官庁、企業、個人、様々な立場からの力添えを頂いた。事業の本質である、縦割り構造の各立場から横断的な交流を生むこと、ひとつの目標（大会成功）に向け協働する機会をつくることで、地域内ネットワークの醸成に寄与した。 ・市民ステージ、写真コンテストなど、市民が参加・表現できる機会を提供することで、市域の文化的活動に貢献した。 						
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>継続的な開催によって、人間関係 地域社会のつながりもまた継続されるとの考えのもと、次年度以降も引き続き、その時世に応じた形で大会開催を目指していく。</p> <p>寸24年度においては、第46回大会の開催を目指し、実行委員会の組成・開催準備に取り組んでいく予定である。</p> <p>実施に際しては、引き続き芦屋市を始め関係官庁・企業・個人の皆様のお力添えを頂き、市域全体で芦屋のまちを盛り立てていくべく、その中心的な機会として本大会が寄与することを目指し、広く参加しやすい組織づくりと安全安心を一義とした運営管理に努めていく。</p>						

事業実施状況を示す写真



<p>活動地域</p>	<p>芦屋市</p>
<p>協働団体</p>	
<p>事業の 目的・趣旨</p>	<p>がん患者さん支援・がん検診啓発チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ (RFL) 芦屋」開催並びに付随する諸活動を通して支援活動を行う。</p> <p>定期的ながん受診を継続することをチャリティイベントを通して発信していく。また、がんサバイバーの情報交換の場として、がんサバイバーを支えていく場として、RFLを開催する。</p>
<p>事業内容</p>	<p>がんサバイバー、ご家族、ご遺族をはじめ、すべての方々が対象となる。 RFL当日は夜を越えて歩き続け、走り続けることで、がん征圧に向けての新たな希望を見出す。 がん患者さんやそのご家族、ご遺族、支援者が集まり語り合える場所の提供。 イベントを通して勇気と希望を与え、寄付金を募り、がん官支援活動に充当する。</p> <div data-bbox="375 940 1372 1142" style="text-align: center;"> <p>イベント「リレー・フォー・ライフ」の支援活動にご参加ください</p> <h2 style="text-align: center;">リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023芦屋 は</h2> <h3 style="text-align: center;">2023年9月2日 (土)、3日 (日) に開催しました。</h3> <p> http://relayforlife.jp/ahiya/ info@rfl-ashiya.net </p> <p> https://www.facebook.com/rflashiya https://www.youtube.com/@RFL_ASHIYA https://x.com/rflashiya/ </p> </div> <div data-bbox="406 1153 901 1220"> <p>開催概要</p> <p>日時：2023年9月2日(土) 13:00～3日(日) 9:30 会場：芦屋市川西運動場/芦屋市立青少年センター 参加者：延べ1000人</p> </div> <div data-bbox="406 1232 774 1344"> <p>01 リレー・ウォーク</p> <p>開会式からフィナーレまで、個人またはチームで参加された方々が夜を越え、フラッグを持って歩いたり、並べられているルミネリアバッグを見ながら歩きたもに朝を迎え、一本のランボルダスキをつなぎました。</p> </div> <div data-bbox="406 1355 774 1467"> <p>02 キャンدل・ラン</p> <p>リレー・ウォークから、夜はキャンدل・ラン参加者がランボルダスキを引き継ぎ、個人またはチームで1.2時間走るチャリティーランが行われました。(参加者：約110名)</p> </div> <div data-bbox="406 1478 774 1568"> <p>03 サバイバーフラッグ&ケアギバーフラッグ</p> <p>来場されたサバイバーさん、ケアギバーさんには、それぞれのフラッグに手形とメッセージを記していただきました。</p> </div> <div data-bbox="406 1579 774 1668"> <p>04 キャンدلライト・セレモニー</p> <p>がんとの闘い、旅立たれた方を称え、追悼するキャンدلライトセレモニーを実施しました。</p> </div> <div data-bbox="406 1680 774 1803"> <p>05 ヘッドネーション・プログラム</p> <p>芦屋市の美容室gram+2Aと協力により実施。提供いただいた髪の毛は、NPO法人JHD&C(通称：ジャーダック)様にお届けし、義理髪によりウィッグが必要なごもたちに届けられます。</p> </div> <div data-bbox="798 1232 1372 1321"> <p>06 にぎやかし</p> <p>芦屋市商工会青年部、OB有志、芦屋なるみか、芦屋新世会のみなさんのご協力により、数品の数々が来場者に提供されました。また収益から寄付をいただきました。</p> </div> <div data-bbox="798 1332 1372 1400"> <p>07 さをり織り</p> <p>会場参加者により、自分の感性のままに、好きに織る手織り「さをり」を夜を越えて行い、それぞれの思いをリレーしました。</p> </div> <div data-bbox="798 1411 1372 1803"> <p>08 交流企画「かたり亭」</p> <p>Act1. ☆ 「がん体験者のかたり」 サバイバーさん、ケアギバーさんこれまで過ごされた時間のこと、心情的移り変わりを語っていただきました。その模様はYouTubeで配信し、0.5歩あるいは1歩進むためのメッセージが届けられました。</p> <p>Act2. ☆ 話して つながる かたり亭 ～みんなで作るがんサロン～ “0.5歩、踏み出してみませんか？”をテーマに、サバイバーの方向け、ケアギバーの方向けに、それぞれのお部屋を用意し、自分と向き合う場を用意しました。</p> <p>Act3. ☆ かたり亭第2部「かたり亭テント・自由交流テント」 “1歩踏み出した方同士、打ち明け、つながり、情報共有しませんか？”をテーマに、がんに罹患し向き合っている方が、互にお話を聴いたり、交流を深め、情報を交換できる場所を設けました。</p> <p>Act4. ☆ ～星空☆教室～ 星空の下、キャンدلで作られた「HOPE」の文字を囲み、サバイバーさん、ケアギバーさん、サポートさん、それぞれの方が今の心境、心の移り変わりなど自由にお話していただきました。</p> </div>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	5	6	2	芦屋市役所	活動内容紹介写真展	6	多数
			9				
		7	4	芦屋市青少年センター	実行委員会定例会	10	
			11	イノスタイル甲子園	黄色いシートキャンペーン RFL 開催告知	2	多数
		8	2	芦屋市青少年センター	実行委員会定例会	10	
			11	イノスタイル甲子園	黄色いシートキャンペーン RFL 開催告知	2	多数
		9	18	リードあしや	活動内容紹介写真展	4	多数
			31				
		10	6	芦屋市青少年センター	実行委員会定例会	10	
			8	新開地喜楽館	RFL 寄席/チャリティ落語会	15	200
		11	11	新大阪ゴルフクラブ	RFL 芦屋チャリティゴルフ	4	50
			9	芦屋市内	開催告知設置 80 カ所		
		12	22				
			27	芦屋市青少年センター	実行委員会定例会	15	
		1	31	芦屋市立川西運動場	備品搬入	4	
			1	〃	設営他準備作業	30	
		2	2	〃	RFLJ2023 芦屋 開催	200	2000
			3				
		3	4	〃	撤収・搬出	4	
			22	キャナルパーク	チャリティ釣り大会	20	100
	4	1	芦屋市青少年センター	実行委員会定例会	15		
		9	YouTube	チャリティグッズ販売	4	多数	
	5	10	MBS 毎日放送	キャンサーフォーラム	4	多数	
		19	チキンジョージ	大人の文化祭 次年度開催告知	4	多数	
	6	19	近鉄 阿倍野	エミちゃん祭り 次年度開催告知	4	多数	
		20	扇町	マイ賞ゲラブリ	4	100	
目標の達成状況	年間を通してのがん患者さん支援・がん検診啓発のチャリティ活動、17年連続のRFL芦屋を継続開催できたことは大いに評価しているが、コロナ禍明けとして参加者2000人を目標としていたが、1800人とどまる。チャリティ活動としての370万円を超える浄財をお寄せいただき、今後のがん征圧事業に貢献できた。						
事業効果	芦屋市民を中心に近隣地区からの来場医者に加え、遠くは九州・四国・関東方面からの来場者も多く、4年ぶりのフルスペック開催でがんサバイバーの交流の場を提供できた。 また、地元各種団体・企業・行政・個人の支えのおかげで、無事故で終了。 更に2024年以降開催に向けて新たな運営参加希望者が手を挙げていただく効果もあった。						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	(次年度以降どのように事業を展開(継続)していくのかご記入ください。) 2024年9月2日～3日に「RFLJ2024芦屋」開催を目指し、準備中。 また、20周年を迎える2026年までの中長期計画での運営を再構築しています。 また新たに行政・地域医療機関を連携を深め、がん検診啓発に具体的な目標・指針を作成し、行動に移します。						

「体験や情報」語り合おう

横断幕を掲げ、がん体験者が力強く「リレー・ウォーク」



① ヘッドネーションに協力する人たち
② フェイスペインティングで参加者と交流を楽しむ高島峻輔芦屋市長



かんと闘う人をどう支えるか

力強く「リレーウォーク」

川西運動場で本イベントの開会式が行われ、がん体験者らによる「リレー・ウォーク」が始まった。
屋外での開催は、4年ぶりがんになってからのさまざまな思いを胸に、前を向いて歩を進める人たちが、温かいまなざしが注がれ、応援の気持を運んだ力強い拍手が贈られた。
夜7時からの「キャンドルラン」は、ライト・セレモニーでは、がんと闘い旅立たれた方々を称え、偲ぶ儀式を行い、追悼の祈りをささげた。恒例の「キャンドルラン」は、がんと闘う人や、大切な人のメッセージが記されたルミネリアバッグの灯りに導かれ、大勢のランナーたちが夜明けを目指して走り出した。翌朝までの12時間、グランドを回りながら「シンボリックスキ」をつないでいく。参加者らは朝まで夜通し交流を深め、思いや体験を分かち合った。

4年ぶりに屋外で一夜

「がん」征伐を目的として地域で取り組むチャリティ活動「リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)2023芦屋」(RFL関西実行委員会、日本対がん協会主催)が9月2日午後、芦屋市立市体育館・青少年センターほかで始まった。

がん克服願

チャリティグッズの販売や、提供された髪を医療用かつらに役立てる「ヘッドネーション」など多彩なプログラムがあり、募金などの収益金は「日本対がん協会」にすべて寄付される。
RFLは1985年、アメリカ発祥の活動で、日本では2007年、芦屋で夜通しのイベントとして公式開催された。新型コロナウィルス感染拡大後も、規模を縮小し、入場制限しながらオンライン開催をするなどして、年に一度の集いを続けていた。
初日の2日は、午後1時から4時まで、芦屋市青年センターでイベントを開いた。がん体験者が語り合い、経験や思いを共有する場が設けられた。その後、

神戸新聞

発行所
神戸新聞社
神戸市中央区東川崎町
1-5-7
郵便番号 650-8571



▼神戸新聞
お試し購読は
こちらまで

神戸新聞NEXT
<https://www.kobe-np.co.jp/>
購読のご案内・配信のご要望はこちら

神戸新聞は
地域とともに
もっといっしょに。
購読のお申し込み
0120-16-8349

夜明けを目指して走る「キャンドル・ラン」の参加者ら



兵庫県阪神南県民センター 県民躍動室 県民課

〒660-8588 尼崎市東難波町 5-21-8

TEL: 06-6481-4397 / FAX: 06-6482-0579